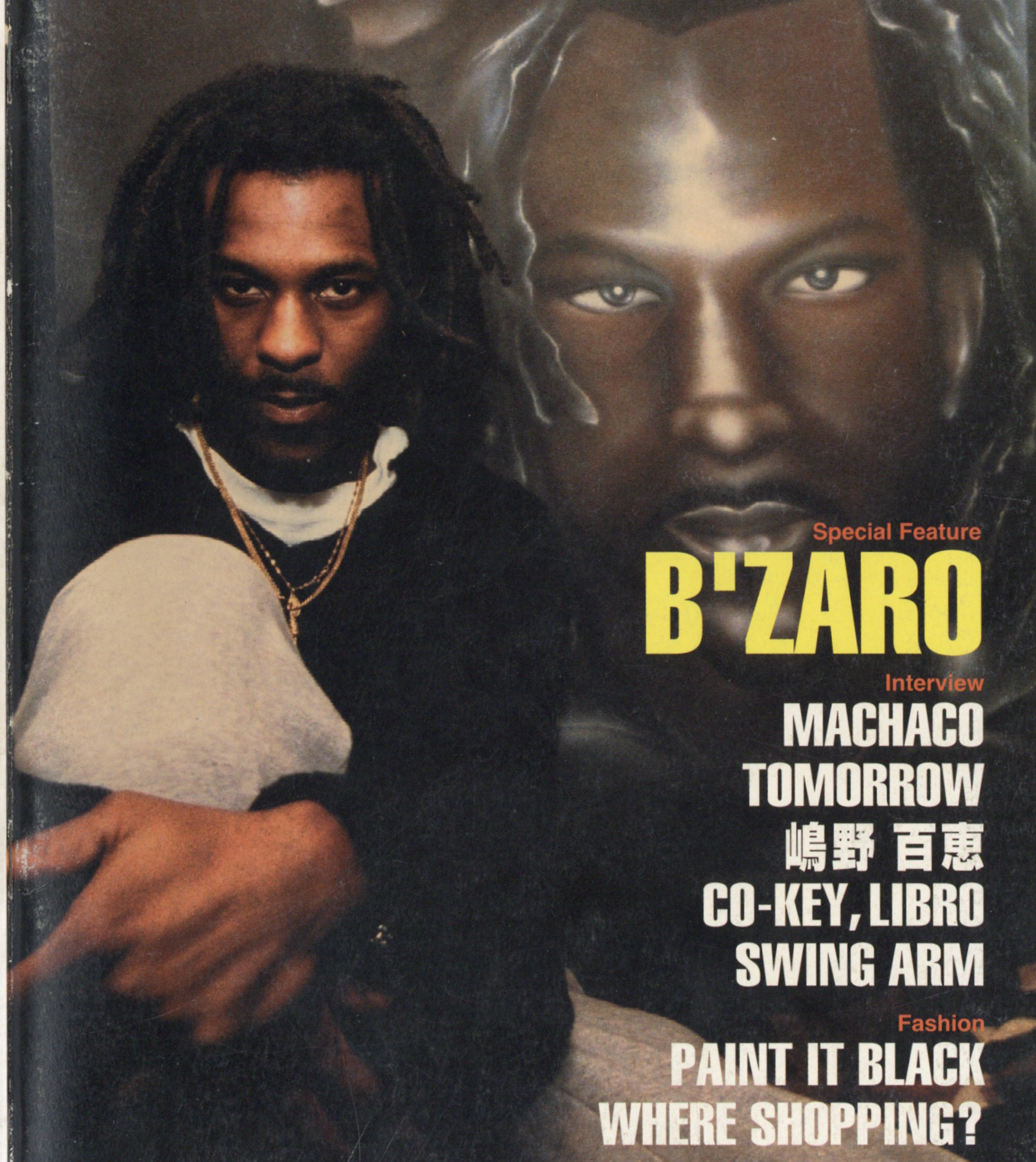
③
roots magazine VOL.03 11月・12月号 1999年11月11日発行 ルーツマガジン 本体価格 ¥286 税込価格 ¥300

HOME TOWN STREET CULTURE... ARTIST. MUSIC. FASHION. AND MO...

made in nagoya

roots MAGAZINE

NOVEMBER - DECEMBER / 1999 / VOL.03 / 300YEN TAX-IN



Special Feature

B'ZARO

Interview

MACHACO
TOMORROW
嶋野 百恵
CO-KEY, LIBRO
SWING ARM

Fashion

PAINT IT BLACK
WHERE SHOPPING?

CONTENTS

COVER PHOTO
B'ZARO

Editor and Publisher
KATSUHIKO KITAGAWA

Art Direction and Graphic Design
KUNIYASU KOJIMA

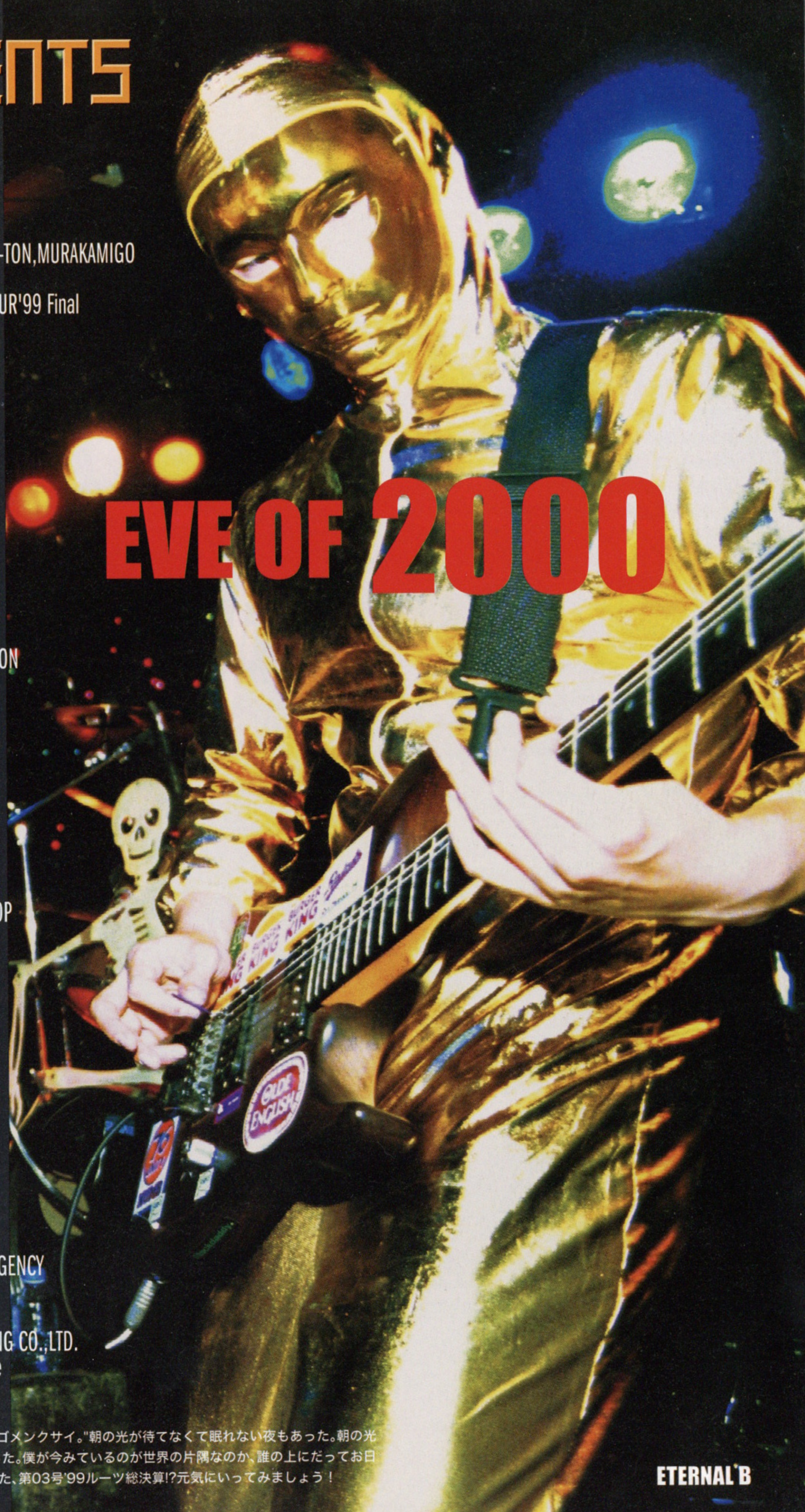
Photographer
KANJI FURUKAWA

Staff
MITSUHARU ITAKURA

Assistant
MUNEHITO TAKAKU

Spesial thanx
MASAAKI ASHIKI / REE-AD AGENCY
フルカワフォート

Printed by NAGANAE PRINTING CO.,LTD.
Produced by roots magazine



INTORO

「予定より大幅に遅れての発売でゴメンクサイ。"朝の光が待てなくて眠れない夜もあった。朝の光が待てなくて間違ったコトもやった。僕が今みているのが世界の片隅なのか、誰の上にだってお日様は昇るんだ" おまたせしました、第03号'99ルーツ総決算!?元気にいってみましょう！



B'ZARO

各国での様々なライヴ経験でスキルを磨いてきたラッパー「B'ZARO（ビザーロ）」。名古屋に来てプロデューサーSUKUと出会うことによって見事に自分を引き出すことに成功-準備はすべて整った。頭で考える暇なんてない！リアルでどうしようもなくストレートなヒップホップ「PAID」(1st.ニューシングル)をここに披露!!



B'ZARO & SUKU





――"B'ZARO"（ビザーロ）という名前について　B'ZARO（以下　B）"B'ZARO"という言葉はスペイン語で"地球外生物"みたいな変な物とかそういった意味がある。昔、友達に付けられたニックネームなんだ。僕はもともとシカゴに生まれた。そうしてある時期、シカゴからニューヨークかロサンゼルスかどちらかに行って仕事をしようと迷っていた。その頃、ちょうどシュガーヒル・ギャングのMASTER Gと出逢い、いろいろと考えた結果、ロサンゼルスに行った。

――そもそもラップを始めたきっかけは？

B　幼少の頃はダンスをずっとやっていたんだ。いろんなステージをこなして賞をとったりもした。ある日に、そのダンスグループの人から急な依頼が、「2日後にラップのショウに出てくれ！」って…そこで2日間で勉強して練習してショウに出てラップしたんだ。そのライヴが凄くヒット！皆に喜んでもらえたんだ。1983年の頃だったかな、そこからラップに励んだんだ。

――COOLIO(クーリオ)のレーベルWYLD KINGDOM(クローバーエンターテイメント)のオリジナルメンバーなんですよね？

B　COOLIOとはオーストラリアで1996年くらいだったかな、NAUGHTY BY NATURE 、HOUSE OF PAIN、などのイヴェントショウで一緒になって知り合ったんだ。

――インスパイアされたアーティストは？

B　最初は、MC ライト、RAKIM…。

その当時はみんな、いろんなアーティストとかと一緒にやっていたよ、MARY J BLIGEにPharcydeとか今じゃぁみんな、それぞれビックになっていったけど…（笑） N.W.Aの？？？で本当のプロとしてデビューし、さらに活動を高めていった。

――その当時の音源はないの？

B　ライヴ中心で活動してきたから…音源はない。レーベル内でメインが決まっているしね。例えば、N.W.A.でもたくさんラッパーがいる。だけどその中でもリリースできるのが決まっている。実力があってもリリースできない…下積みがいるというか…。それに大抵のアーティストは自分のホームグラウンドが決まっていて、その街で活動していくんだ。そういった中で自分はもうちょっと違ったアプローチをしたかった、ワールド・ワイドな感じで。各地へ行ってライヴするのが自分に合っていると考えた。ここ名古屋に来る前はアムステルダムに居たり、オーストラリアに居たりして活動してきたんだ。

SUKU（以下 S）　そう、よくみんな聞くのはビザーロが上手ならなんで今までレコードをリリースしないの？って。別に上手いとか有名とか関係ないと思う。リリースするかは会社とかの都合。いくらリリースしてても世の中には「えっ？？」っていうラッパーもたくさんいると思う!!（笑）今回 ビザーロが日本に来て、実際にリリースが決まった。「アメリカでは出来ないからだ」とか、「日本だとすぐ出来るからだ」とか、日本人が日本に居て言うからそう思うのかもしれない、逆に日本人がアメリカでリリースする様なものなのに…。逆にアメリカのビザーロの友人はうらやましがるぐらいだよ。僕がビザーロのラップを聴いて凄く気に入った！じゃぁここに来て良い環境の中で作ろう！ってそれだけだよ。

B　今までの活動経験で、自分のラップには自信があった。今後活動していく上で、どう自分らしさを見い出すのか？ちょうど自分のラップスタイルを探し求めていた頃に、友人を通じてSUKUに出会ったんだ。話をしていくうちに、求めるものや考え方が似ていたり通じるものがあったんだ。そうして、だんだんとお互いにリスペクトしあえる仲になった。そうして2人で上手く形にしてみようってことで自然に曲が生まれた感じかな。プロデューサーとアーティストとして、ビジネスだけではなく凄くよい感じに物事が進んだ。

S　来年にはビザーロのアルバムがリリースする。タイトルは"PLATINUM"もう何曲かは完成してるよ。ヒップホップっていっぱいある。だけど、ビザーロはヒップホップだけ好きとかじゃなく音楽が好き。ミュージックとして。PAIDがキャッチーな曲で解りやすい。だからみんなに注目してもらって知ってもらう。そこから本当のビザーロを見て欲しいというのがある。

B 自分の中でヒップホップ、音楽全般に守備範囲が広いって自分で認識していた部分があった。そこで日本やヨーロッパのマーケットで、ある程度ブレイクポイントまでいくにはあんまりアンダーグランドな音よりもキャッチーな音のが良いと考えていたんだ。メジャーでリリースの話もあったけど、インディーズの方が自分的に動きやすいっていうのもあるし…現在ではインディーズは十分活動が広がってきて、充分やりやすくなってきてるしね。あえて、インディーズからアプローチしてみよう！という感じかな。

S　本当のヒップホップは言葉、メッセージ。だからPAIDは本当のヒップホップ！リアルなヒップホップだと思うよ。

――じゃぁ、そのニューシングル「PAID」のリリックの内容が凝っているという？ B ノー！ノー！凄いシンプルだよ！PAIDの意味そのまま、お金をもらった！お金が入ったぞ！っていう意味。仕事して給料もらってハッピー！みんな盛り上がる！自分は昔から環境的に恵まれてなかった部分があるから…元々、スラムから頑張って生きてきたからこそお金が入ってくることの喜びが大きいんだ。みんな頑張ってるからこそ、その時の喜び！

――「CD GROOVE XXX（NTV）」では現在、17位と上昇中ですね

S　耳に入りやすい、キャッチーなトラックだからいいところまでいくと思うよ。周りのみんなもサポートしてくれて嬉しく思う！リリースは日本だけではなくて12月のクリスマスシーズンにはヨーロッパでも発売するよ。

――ヒップホップというと一般的に暴力的なイメージもあったりと。ピストルにドラッグ、ギャング…という、その辺りはどう考えていますか？

Throw your hands in the air if your paid
Not givin a ★uck how your cash flow was made



B　本当に最初のヒップホップ[illegible]葉のポエトリーでしょ。そこから、凄くダークなイメージになってい[illegible]なイメージは全然良いんだけど、ダークはだめ。映画とかでよく観たりす[illegible]カッコイイ、気持ち良いかもしれないけど、本当の実際の生活の中では気分悪いんだ。幼い時にそういった環境、ギャングの対立や友達が死んだりと…[illegible]環境で育ってきたから…。凄い自分は嫌だね。ヒップホップにはもっと良いメッセージがあるはずなんだ。ポジティヴなメッセージが！そんな街に居る、ギャングスタ・ラッパーがそういうハードな面を歌っているから自分はそれ以外のポジティヴな面を歌っていきたいと考えている。今のヒップホップはバイオレンス、ドラック、セックスを凄くプッシュしている。セールスが欲しいために、実際よりもオーバーに表現したりしている部分もある。人間の悪い物への憧れみたいなのを利用してセールスにつなげる。それはそれでいいんだけど…。俺の歌では子供から両親まで、みんなとその曲で盛り上がりたいと思うよ。ヒップホップも自分の本当のライフだからね。僕は、ボブ・マーリーが好きなんだけど、好きなのは"レゲエ"が好きだから好きじゃぁなくて"ボブ・マーリー"自身が好きなんだ。彼をJAH、神様だと信じているよ。本当の言葉、"メッセージ"が大切なんだ。ヒップホップだからこういう風って決まったイメージでは自分はアプローチしないね。自分なりの表現方法-スタイルでお客さんと接していきたいんだ。

――現在は世界各地にヒップホップというシーンは必ず存在しますよね。その中で日本という国はどのように映ってますか？

B　何を言っているのか、日本語は分からないけどメッセージは伝わるし、なによりエネルギーがある！日本のヒップホップのヴァイブは凄いと思うよ。

――その日本で、気になるアーティストは？

B　大阪のSBS クルー、あとはZEEBRA。僕が黒人だからラップが上手いとかじゃない（笑）日本のラッパーも上手だよ！しかも、MC プライドとか凄い！黒人より持っている時があるし（笑）今、クラブ[illegible]ている、日本のヒップホップアーティスト達には凄く感謝している。[illegible]自分に本当に自信があるんだったら、リアルをキープして頑張って欲[illegible]願う。まだまだ日本ではヒップホップはメジャーではない。だけど[illegible]やるしかない。頑張っている時、神様はいつもしっかり自分を見ている。だから、まず自分自身に頑張ることが大切。

――名古屋はどんな印象ですか？

人々がみんなクール！それでいて街がドープ！自分と周波数が同じ！（笑）とにかく環境が凄くいいんだ。スクのスタジオ"state X.S"は最高!! 今だってアメリカの友達、RUCKUSなどが製作しに来ているしね。来週からヨーロッパにプロモーションで行くけど、もちろん名古屋には帰ってくるよ！

今回、SUKUのレーベル事務所"state X.S"（アトリエ的スタジオという感じ）にてインタビューを試みた。謎の存在であった"B'ZARO" のことが少しでも理解して頂けただろうか。私達を違和感なくとても快く迎え、言葉を越えて接してくれた。インタビューを通じて彼のひたむきでとてもポジティブな姿勢が伺えたのは事実。ヒップホップの自由な発想という表現方法の中で彼は、豊かな活動経験をフルに生かし考え、そして今、革新性に溢れかえった彼は第一弾シングル「PAID」に強烈なヴァイブを注ぎ込むのであった。



NOW ON SALE!!

B'ZARO/PAID （CD シングル,アナログ12inch ）/state XSプロデューサーのSUKUはイギリス人、ビザーロはアメリカ人、制作は日本とまさにワールドワイドレベルな楽曲。
トラックネタに「恋は水色（LOVE IS BLUE）」をサンプリング。とてもキャッチーなトラックがB'ZAROのラップを引き立たせている。

TOMORROW

誤解を恐れずに彼等の音楽性を言葉で表現するなら、「音楽を最高の快楽に導くための公開オナニー」バンドメンバーがそうやってみせて、みんなも「ほらね気持ちいいでしょ！」っていう具合。音的にはパンク・ロック・ハードコア、彼等の位置は誰にも決められることなく豊かなサウンドと自在のセンスで"TOMORROW"を表現。岡崎を拠点に各地でコンスタントにライヴを行う、彼等「TOMORROW」の熱いインタビューを！ロックとは何か？活字じゃ表現しきれない彼等の全貌！

——まずは自己紹介をお願いします

Die（以下 D）TOMORROWのヴォーカルをやってますダイスケでーす！ボヨヨン！

Siva（以下S）僕がドラムをやっているシバタコウジ、だけど通称 Sivaaaaaaaaでーす！

Yuzo-C（以下Y）ベースのYuzo-Cでーす！

KamaSS （以下K）ギターのカマクラでーす！

——TOMORROWを結成した経由を聞かせください

Y 最初はギターが違って、もろMANIAC HIGH SENCEに影響されとったバンドをやっとって、そっから今のカマクラがギターに加わって、だんだん自分等のやりたい事が見つかってきて今になったって感じです。

——そのTOMORROWというバンド名はどこから？

D MANIAC HIGH SENCEのドラムのダイ先輩に突然、家に呼び出されて「おい、お前らのバンド名、TOMORROWやでな！」「おっー!?」って感じで。最初はTOMORROWという言葉に抵抗が合ったけど…よく考えたら凄げえヤベェ名前だ！って、そのまま現在に。あと「名前通りのバンドを作ろう！」ってことで…

——9月にANSWERレーベルから発売された経由は？

S とりあえず、最初はシングルって話だったけど、僕達も曲がたくさんあったから、ずうずうしくアルバムって言ってみたらOKが出まして（笑）…僕達の曲も気に入ってもらい、そうしてリリースしました。

——アルバムのタイトル「Nuovo puNto di partenZa」について

S これはイタリア語で、意味的に言うと、僕達はこれで終わりじゃなくて…、これからスタートだ！とか、出発点という感じの意味です！

——曲作りは誰が担当しているの？

S 僕がほぼ出来た感じで持ってきて、そっからみんなで合わせて…

Y 90%くらいシバキンが持ってきて、残り10%くらいが他のメンバーが作り合わせるって感じです。

D ほんで、120%ライヴで完成すると！

——歌詞は英語とイタリア語ですよね？

S 特別な意味はない。イタリア語でやっているのも、英語でやっているのも、万国共通だとかそういう意志もないし、いかにライヴでいい形を見せれるのかっていうのが強くて、イタリアのバンドに凄く影響されているっていうのもあるけど、ちょっと変わった事をやってみたいなぁって。イタリアが特に光ったもんでちょっとイタリア語でやってみよっか（笑）って感じで…だからって俺が元イタリア出身とかではないんですよ！（笑）イタリア語ってやっぱり少し伝わりにくいじゃないですか、日本語や英語よりも。その点は、僕達はブックレットとか作ったりして英語や日本語で詩を載せたりして…。あと、ライヴではとことん楽しんで欲しいっていうか、あんまり堅苦しくやるよりも楽しもうぜっていうのが僕等のやり方です。

——歌詞の内容は？

S 総合して、俺等に歌っています。身の周りの出来事で気付いたことを書いて、俺はこう気付いたからお前等もちょっとそれについて考えてみろよ！みたいな感じです。歌詞的にはそういうのが多いですね。じゃぁ、俺等はそういうのが出来ているのかっていったら出来ていないんですよ。だから、俺等にも歌っている！僕が書いた歌詞は僕の表現であるから、だからライヴとかではダイスケがちょっとちがう、彼なりの表現で言う時もあるんですよ。MCで歌詞どおりにはコイツ絶対伝えないんですよね。歌詞どおりだったら歌詞カードみればいいんだし、ライヴなりの伝え方をしているんですよね。

Y 歌詞を読んで、こういう考え方もあるんだよっていう。手段、いろいろとらえかたがあるんだってこと。

S ダイスケがその場に応じて分かりやすく、伝えてくれているってのがあるね。すべてのことに関して前向きに！ってのがあるね。

D 分かってくれとは言わないけど、気付いてくれと。

——メンバー個人的に聞きます、自分の尊敬するアーティストは？

D 一言で言っちゃうと三河のバンド、全部すべてに対して。愛知県のバンドはすべてにやられてますね…。ヴォーカリストだと、最初に出るのはMANIACの沢田くん、WITS ENDの都築くん。特にこの2人は、ライヴをやっている時の目が大好きで、自分もライヴは凄い大事にしているから…やっぱ真剣にロックやってる奴って目つきが違う！目つきで分かるから、その辺で2人は凄い。

K 最初はハッキリ言ってハードコアとか全然知らなくて、そういう点ではMANIACのイッペイくんには影響されました。特に、個人的にこの人！ってよりバンドや全員からは影響受けていますね。

D 愛知県は個性のあるバンドばっかだもんねぇ。愛知県で頑張っている奴等全員、個性が出てるから、かっこいいギターを弾いているとか、かっこいい曲を作っているとか、そんなんじゃなくて、みんなが真剣にロックやってる奴等ばっかだから…もうそれだけでお腹いっぱいでこれからが凄い楽しみです！

S 僕、ドラムとしてはやっぱり、ヨーロッパの音楽とか大好きで、とくにスウェーデンが好きだから、ドラムは思いっきりそこら辺に、ディービートとかモブ47とかその辺りの影響はかなりデカい！もちろん、三河や名古屋のバンドも個性があって凄い影響をうけているんだけど、一番といえばヨーロッパですね。

Y 僕は別にTOMORROWでベースを弾いとるだけで、他に好きなベーシストがおるわけでもなくて、ただ4人で作っていく音楽の中で僕はベースをやっとるだけだと思う。けど、みんなは音を出しとる事が一個の事だけであって、別に影響を受けたアーティストは、ないと言えばないです。この4人に影響を受けとる。

S 僕もそれはありますね。

——CDのリリース後、環境は変わった？

Y 変わりました

S コンタクトは結構僕がやっていて、イタリア語に変えて、日本にイタリア語で歌うバンドはいないってのが大きかったし、なんか、昔に比べると勢いが付いてきたってのがあるから、そっからの影響は大きい、だから…どう、なに？？？？（笑）

——じゃぁ、今の自分達の気持ちは？

D 絶対流されるつもりはないし、流れを作ってやろうって！何に関しても、すげえバンドと一緒にやってても、自分等がやっぱ一番スゲエって自信持ってやってるから…だから流れにのまれることはないし、実際は自分等も新しい流れを作ろうと思ってないし、ただ人はそう言ってくれるだけであって、周りの目を見ながらロックやってないから。やりたい時にやれるライヴの方が気持ちの面で表に出せるから、やりたい時にやったライヴを思いっきりガツンとやれるのが、僕等の力になっているから…。

Y 本当に自分等が自分等であって、僕達のペースがあるし、誰から何言われようが関係ない。

D 確かに、後味悪いような言われ方されても、ちょっと一服して「まぁいいや！忘れちゃおうぜ」って、そんな感じです。大事なのは自分等のスピリットとやり方だから、周りがこうだから俺等もこうだ！ってのは一切ないですね。僕達がやりたい時にやりたいロックをやれば僕等はそれで満足ですから。






Vocal. Die　Guiter. KamaSS　Bass. Yuzo-C　Drums. Siva

——岡崎のシーンについては？

D ハードコアシーンというものはないと思います。僕は。シーンというのはメンバーそれぞれのハートの中にしかないと思うし、確かにSTRIKE OUTがいるとか、後輩のバンドも出てきているとかがあるだけで、僕はそれをシーンだとは思わないし、やっぱり、みんなの中にシーンが出来ているから…ん〜これは言葉には出来ないですね。たしかにバンドがいて、STRIKE OUTにはいつも刺激食らってるし、MARTEN'Sもいるし、豊田に行けばORDERもいるし、ROTARY BEGINNERSもいるし、そういうバンドがたくさんいるからって1つのシーンとは全く思えないし、常に最高のロックとしてのフレンドリーなライバルでしかないと思う。だからシーンとしてこだわってないです。

——じゃぁ名古屋のバンドについては？

D 僕は、岡崎のCAMでのライヴ、WITS ENDを観て…もうヤバイねぇ!!!こんな言い方すると負けた気がして悔しいんだけど、安心できたっていうか…ライヴ中に都築くんを見て思ったのが、僕が年下でよかったなぁって、追う立場でよかったと。…こんな事言うと都築くんに怒られるかも知れないけど（笑）、僕は追う立場で、都築くんは追われる立場で、黙って見てろって感じで！こっちは好き放題つつけるから…。だけど、相変わらずヤベぇあの人は！（笑）

——各地方でライヴして、面白い所は？

S 外行くと、やっぱり、岡崎や名古屋には無いものが凄いいっぱいある！だから、どのライヴも、例え客が盛り上がってなくても、雰囲気だけで充分楽しめる！

D 地方の音楽的スタイルに即発されるんじゃなくて地方の人柄に僕等はやられちゃって、それがハートに焼き付いて僕らの音楽になっています！って言ったって全くの事実だし。その人のライヴ中の真剣な眼差しが焼き付いて、こっちも負けちゃおれない！っていう気持ちがやっぱりいい曲を作ろうとするし、もっと盛り上がらせようとする曲もやっぱり考えたり…やっぱり、全国のロック、パンク、ハードコア仲間のお陰ですね。

——今の自分達に満足していますか？

S コレねえ！（笑）僕の中では、バンドは満足したら終わりなんですよ！

Y うちらは、ロックにも転ぶし、パンクにも転ぶし、ビジュアル系にも転ぶし！

S そう！ライヴやれば課題って残るじゃないですか、それを次のライヴに生かせるようにと、次のライヴをすればまた課題も残るし…だからこう、やればやるだけ課題は出てくるし！まだこの分では足りねぇなぁって！

Y そこそこに良かったなぁはあっても、満足したことは無いって言えばないよね。

——これからやりたいなぁと思うコトは？

S とりあえず、ライヴはガンガンやっていく！

D やっぱり、ライヴをやらなきゃ、いい曲作れないし！音源聴いて、カッコイイって思ったバンドはライヴ観りゃ、やっぱ本物だし。すべてはライヴにおけるんじゃないかなぁって僕は思うから、こなせば自信も付く。

S 曲さえ出来れば、テープだろうがレコードだろうが、ガンガン出していきたい。大袈裟な話、先週出して、今週も出すくらいの勢いがあってもいいし。

D ラルクの3曲同時発売というやり方はウマかったなぁ。

——最後に、ライヴとは違った、雑誌での表現方法に則り、コメント＆メッセージをどうぞ

Y うちらは本当にやりたい様にやっとるだけだから、皆も観たいように観てくれればいい。どんな感じ方でもいいと思うで、素直に良いものは良い、嫌なものは嫌だ、でいい。なんか変な線は引かずに、みんなでロック天国へ、音楽天国を作ろう！

D 僕も、ライヴ好きでいつも自信持ってやってる。今、これを読んでいるキミ達も、値段とか、ブッキングのメンツとか全然気にしないで、本当に好きなら絶対来れるし。こっちもその気でやってるから、もう、キミ達もその気でできればかかってきて欲しいし。良いものを絶対見せてやるし。それで、難しいんだったら来なくていいし。本当に行きたい奴は来て欲しい。これで一つ言えるのは「キミの指示には絶対従わない。キミが興味を持ってるんだったら」っていう気持ちでいつも僕はロックをやり続けますんでこれからも御声援をよろしくお願いします。

K 僕は今、楽しく音楽をやっているし、ライヴも楽しくみんなでコーラスとか歌ったりと、みんなで楽しんで行きたいと思ってるんで、楽しむということを中心に、ライヴとか、みんなとしゃべったり…みんなで手を振りながらコーラス歌いたいです。是非ライヴに来て下さい！

S 僕も、皆が言っている通りなんですけど。僕等が歌っている歌詞の内容を強制するつもりもないし、やっぱライヴに来て楽しみたいからそんなのうざってーならうざってーでいいし。だから、本当に本人の思うがままに楽しんで、考えてとか…そんなのが俺はいいから、これからも長い目で見て下さい。TOMORROWは永久に不滅だから！もちろん、後先の事なんて考えてねぇし。とりあえず、1つ1つのライブを精一杯やるから、その瞬間を見て欲しい！

D 僕等が新しくなる瞬間を見届けて欲しいです！お金じゃ買えない物がそこにはあるぜ！ROCK'N ROLL BABY!!!

★TOMORROWは、毎回のライヴで自分自身に多くの疑問を投げかけながらも、確実に答えを見い出し乗り越えている。だから、ライヴにおける彼等のテンションは凄いものがあるのか。狂ったように動き回るヴォーカルに、ハイテンションな演奏に、お客に暇を与えないコーラスに鳥肌すら感じた。

いつにか、簡単にハードコアと唱えて、時代の雑音になってしまうそれとは全く異なるスタイル。柔軟かつ雑食化、試行錯誤の末に独自に創り上げた音世界、そう"ロック天国"。インタビューで言っていたまさにそれなのである。彼等なりの音楽に対する美学がしっかりとあることも分かったし、何よりもライヴもそうだしすべての物事に対し、前向きに向上する姿勢。自分等の音の表現術は素晴らしく進化しているに違いない。まさにバンド名通りのスタンスで激進しているようで、彼等には心地よい飛躍がある。何の隔たりなく音楽に対する楽しさがにじみ溢れているTOMORROW。これ以上彼等に何を望むのことがあるのか？



■ANSWERレーベルからのフルアルバム [Nuovo puNto di parten Za]

TOMORROW「GO TO THE 2000 TOUR」

12/4	（土）	F.A.D（横浜）
12/18	(土)	WATTS（東京）
12/26	(日)	HUCK FINN（名古屋）
1/15	(土)	夢希望（安城）
1/22	（土）	新宿アンチノック（東京）
2/20	（日）	新宿ジャム（東京）

★2000年にはDEVOUR RECORDSからアメリカの、9 SHOCKS TERRORとのSPLIT LPをリリース予定



Vocal　KOTA
Guitar　TAKAMITSU
Bass　TSUYOSHI
Drums　IKA

Swing Arm

豊橋を中心に活動を続けているハードコア・バンド「SWING ARM」。新たにリリースされた「IT'S MY STRAIGHT STYLE」も好評！パワフルかつスピード感に溢れ、見事なまでに吠えまくるそのライブパフォーマンスで全国各地に活動を展開し支持を集めている。　ライヴ終了後のラハイナにてインタビュー。

——結成から現在までの経過を聞かせてください
K　18の時作ったから、えっと…6年前かな、まだ僕とイカがJAPのバンドをやってた頃かな、バンド名とかは決まってなくて…ただその当時、ライヴをするのに名前が必要だってことでSWING ARMってとりあえず付けて、スグ変えようって言っていたんだけど…そのまま現在までその名前ってことで（笑）いつの間にかこのメンバーで演ってました。3年くらい前からかな、96年にDEMOテープを出して本格的に活動するようになったのは…。
——あとのメンバーとはどうやって知り合ったの？
K　僕とタカミツは高校の先輩と後輩の関係で、ツヨシくんはクラブ!?で知り合ったっけ？
T　知らんわ！お前が勝手にしゃべって来たんだろ！（笑）
K　まぁいいが！確かそうだよ（笑）
——昔やっていたバンドっていうのは？
K　MURDERっていう名前でJAPバンドをやっていました。そのうち、ゴリビスとか聴いてそういうバンドをやりたいなぁって思いはじめた。ファッション的にも。そうして今のSWING ARMが出来上がった。
I　NO ESCAPEっていうバンドを最初やっていて、そうしてMENTAL DDとSWING ARMを掛け持ちでやるようになって、今現在、SWING ARM。
——地元の豊橋で月１回「SPEAKOUT&STANDPROUD」というイヴェントを企画していますが…
K　やっぱ、豊橋を盛り上げたいなぁってのがあるし、レコード売ってる量も限られているし、ファンジンがあるわけでもないし、情報や流通がまったくない！動いていかないと何もない街だし、若手だってライヴをやる機会があまりないだろうし、ましてや自分で企画していくのもない！だからやっているってのがある。
——そういった豊橋の音楽シーンはどんな感じに映っているの？
K　お客を見る限りでは、今はとりあえず人の顔色を伺っているなぁって感じがする。周りがのっているから俺も！って気がするなぁ。
——音源について、RADICAL EASTからリリースした訳は？
K　俺ん中で一番出したかったレーベルで、信頼できる人間関係だということもあってリリースしました！曲がなかったからアルバムではなくてミニアルバムになった（笑）
——CDリリース後、周りの反応はどうだった？
TA　変わったねぇ。反応が出てくるようになった！
K　宇都宮とかRADICALが流通していないはずなのに、ちゃんとシングアロングしてくれたりと、京都でもそうだったし。岡崎なんて、モッシュは無縁の街だなって思っていたら反応がかなり良かったのにはビックリ！あれっ変わったなぁって！（笑）そういう面でCD出して変わったなぁと感じる。だけど、とりあえず名古屋だよね（笑）
T　反応が乏しい気がするなぁ…名古屋に反応がでて欲しいね（笑）
K　名古屋のお客をのせたいっていうのがある…自分の中で、名古屋をのせればどこでものるでしょうってぐらいの気があるから（笑）
——メンバー同士で遊んだりとかは？
TA 遊んだりはあんまりないけど仲はいいよ！
K　僕が問題児なんで…（笑）
T　メンバー内で言えなかったこととかあって、ちょっと前に一度話し合ったコトもあったり…今は当然大丈夫ですけど（笑）
K　何かあって、話し合ってくれるところが本当感謝！ツヨシくんと飲みに行くとたいがいケンカじゃんねぇ（笑）
T　オイオイ！昔、俺が叱っとったら、お前寝とったじゃん！あれは怒れた！だってコイツ寝とるんだもん!!（笑）
K　すっごい前じゃん！それ！（笑）
——ところで、ハードコア以外に音楽は何を聴いたりしてるの？
K 友達にヒップホップのミックステープを作ってもらったりして聴いてます。誰かは分からないけどレゲエとかもちょこちょこ聴いたりしているかな。
I　演歌以外だったら何でも聴きます（笑）ハウスも聴くし、ラップにR&Bなど。
T スカ、ダブ、ジャズ…、最近はよくジャズですね。特定はないし、基本的に何でも聴けるよ。
——みんな普段は何をしているの？
T　岡崎の友達を中心に、SKA STATIONっていうスカのバンドを今やってます。そのバンドがライヴとか出来るようになったらもしよかったらそっちも観に来てください。
K　仕事終わって、友達の服屋、Number 3とかAT FIRSTに行ったり、飲みに行ったりって感じです。あと夜の海！現実逃避!?（笑）
TA 最近MAC買ったんで没頭してます。あと彼女できたんで（笑）遊んだりしています。
I　地元のスケーター達と一緒に遊んだりしています。僕はスケボーはやらないんですけどね…。
——一緒にライヴをしたり、自分達の周りのバンドで即発されたバンドを教えてください
K　MANIAC HIGH SENCEはハズせない！あと、ライヴは観たことないけどTAKE-THE LEAD！　音的にだったらSWICH-STYLEとか…。すごくたくさんありますね。
I　昔、ダイヤモンドホールで観たTAKE THE LEADですね、あとSCAR！
T んん〜っ周りのバンドすべてだね。やっぱ自分とことは違う訳だから…。
K　実際、今友達になっているバンドとか、そのバンドごとに影響を受けているのは間違いない！
——今後の予定は
K　東京のPROTECTとSPLITを出そうって話はあるんだけど。その前に曲を作らないと（笑）
——最後にみんなにアピールを
TA よろしく！（笑）
I　一度観に来て下さい！
T　ちょっと、照れ屋なんで（笑）ライヴなどで気軽にしゃべって、コミュニケーションを取りたいです。
K　ルーツを読んでるハードコアキッズなり、そうでない人達、特にライヴに来て観て欲しい。そして気楽にしゃべりかけて欲しいってのもあるし。ライヴに関しては誘ってくれればどんな所にでも行きます。PEACE OUT!!!（笑）



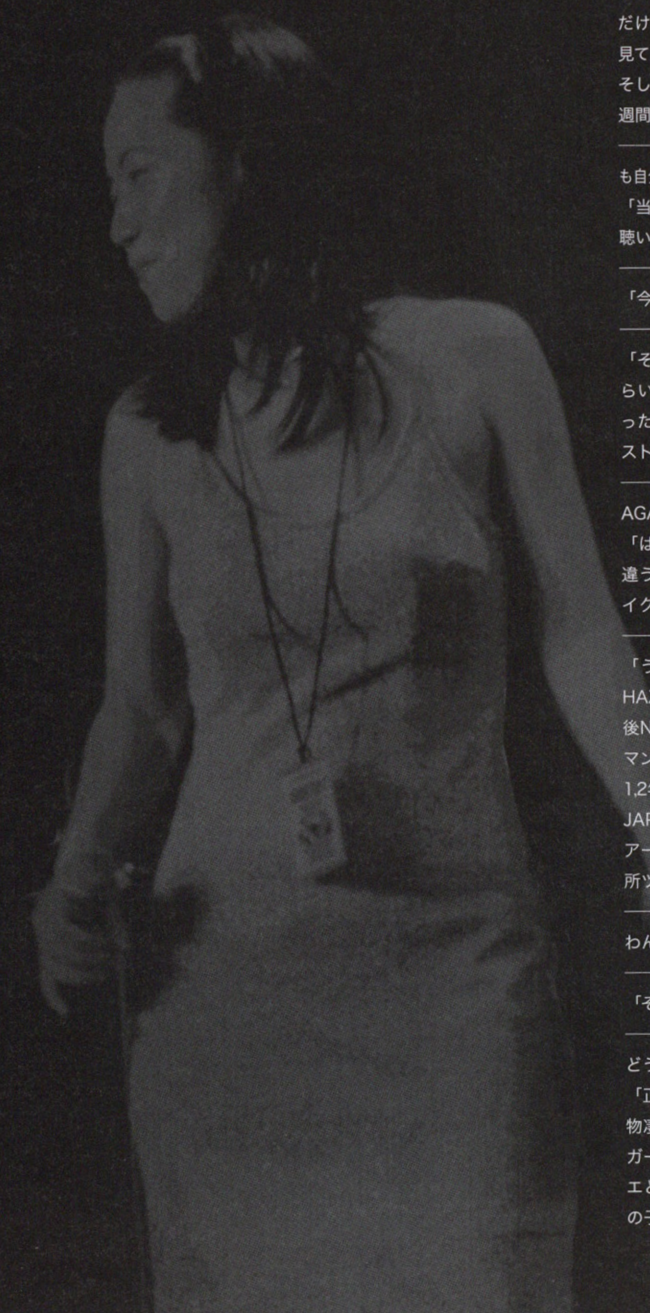
INFO / 12/26（日）豊橋ラハイナ「SPEAKOUT&STANDPROUD」
SWING ARM,PROTECT,NO ALLEGIANCE,WALL OF HATE

machaco

約10年間、レゲエシーンにおいて各地で数々のライヴをこなし、いくつもの音源をリリースしてきたMACHACO(マチャコ)。かたくなにレゲエを愛し歌うことの喜び、自然と周りの人を包み込むような歌ごころ…そんな彼女の魅力って何だろうか？何気なく傾けた耳に彼女の深化した歌声が聴こえてきて…何気なく幸せになる…



machaco interview





——先週は高知県へライヴに行って名古屋に戻り、来週は京都、その次が北海道と凄く多忙ですね。全国各地から引っ張りだこって感じですね。

「そんなことないですけどね…うれしいです！」（笑）。

——まさに今まで自分が築きあげてきたアンダーグランド・ネットワークですね。

「いえ、…みんながくれたって感じですね」

——なるほど…。では、まず最初に定番ですが、マチャコさんのルーツを聞かせて下さい。

「10年くらい前、当時付き合っていた彼がレゲエが好きで、そこからレゲエを聴くようになったのかな。当時、Barみたいな小さなCLUBがいっぱいあった時期で、ある CLUBに遊びに行ったら、何と！現在DYNASTYのゴウくんが回していてしかもお客さんがほとんどいない!!だけどずっとゴウくんが一生懸命に歌っていて…それを見てたら急に"歌う？"ってマイクを渡されたんですよ（笑）そして歌ったら"オオッー！"ってことに…!!!そうして何週間後には東京のクラブとかで歌ってましたよ」(笑)

——ええっ、それは凄いですねぇ。いきなり歌のメロディとかも自分で作ったりして？　。

「当時は自分の知っているレゲエの曲を歌いました、その後はいろんな人のを聴いて、いいメロディーのフレーズを真似して、日本語をのせてやってました」

——ということは…失礼ですがマチャコさんの年齢は？

「今年で30歳ですね」（笑）

——10年前ということは20歳の頃ですね

「そうですねぇ…」（笑）「私、あの頃はLADY SAWも裸足で逃げ出すぐらいの坊主頭でしたねぇ。（笑）東京のクラブに行ってはマイクを奪って歌ったり!!（笑）…そうして、トリガー（現 guiding star）達と一緒にコンテストに出るようになって…。荒らしまくっていましたねぇ、あの頃は」（笑）

——'92年、日本コロムビアからの"HARD MAN FI DEAD"に参加、"REBEL AGAINST ME"が初の音源になるのですか？

「はい、そうですね。日本初の"ワン・ウェイ"（同一のトラックで一曲ごと違うアーティストが歌う）アルバムで、しかもSTUDIO ONEのオケのリメイクだったので反響はありましたねぇ。変わっているから」

——その辺りがまさに今の日本レゲエ界の幕開けと言っても？

「うれしいですね、そう言ってもらえると（笑）その頃は、TWIGYとかHAZUくん、 Trigger、Olee louとかと一緒にクルーも組んだりして、その後N.Yに住んで、ちょくちょくジャマイカに行って、そうした時にチャイナマンって言うプロデューサーと知り合って、そこでリリースした。そこから、1,2年後にはジャマイカでB.Pさんと知り合って、"Ghetto Boy"が出来上がり、JAP JAMレーベルからリリースしました。その後、帰国してアキソルのツアーに参加させてもらって"Right track"を出したり、 Kayaさんと全国26ケ所ツアーでまわったりと…そして今に至ります」

——当時、活動していて東京でやっていこうとは思わなかったのですか？「思わんかった！全然、考えなかったねぇ」

——地元でやって行こうと？

「そうですね名古屋で。地元は岡崎市なんですけど…名字も"岡崎"だし！」（笑）

——では、現在、女性のシンガー、R&Bブームみたいに騒がれていますが、どう受け止めていますか？

「正直言って以前は、置いて行かれた気がしていたけれど、今、1999年冬、物凄くいいポジションだなって思うんですよ自分で!!だって、レゲエのシンガーはあまりいないから…。例えばトラックがレゲエとか、歌い回しがレゲエというのはいっぱい居るけれど、私みたいに不器用にレゲエやっている女の子がいないし、レゲエのダサかっこいい部分みたいなのを表現したいって思っているアーティストは他にはいないと思う！」

——逆に言うなら、レゲエ・シンガーがいなくなって競争率が下がり、やりやすくなると？

（笑）！「なんていうのかなぁ、みんながR&Bになればなっていく度に私は私らしくなっていく訳で…」

——では、もしも大手メジャーのレコード会社から誘いがあったら？

「ん〜、その話自体にときめいたらやると思いますね。でもなんか、いろいろと注文されるんじゃないですかねぇ。私のことだから"うっとうしい！"ってなっちゃうような（笑）実際、本当に条件と合えば良いけど…。私は、そういうメジャーに目を向けてもらおうと最初から思って頑張っても無駄だと思うんですよね。色目を使って頑張っても無駄！正直言って。だって、全然リアリティがないんだもん！想像がつかない。それよりも、今は自分等が面白いと思っているコトをやっていけば、説得力も増すし、そっちの方が逆にメジャーも欲しがると思う」

——仕事として歌わされたりする歌手にはなりたくないですよね？

「もちろん！それじゃぁ、つまんないよね。それで良いものができればいいんだけど…絶対想像がつかない！」

——マチャコさん的にコレがレゲエだなあって思う内容を言葉で表すなら？

「Ghettoのダンスのビデオとかで、物凄く太っている女の人が凄い勢いで踊っているのをエフェクトかけながらずーっと録っとるカメラマンとか、国民的シンガーがスタジオで"ピロロロー"って笛を吹きながら歩いとったりとか…、全身バッチリキメているのに足だけ素足だったとか、宇宙人みたいな変な格好したり（笑）こういうのってやっぱレゲエだなぁって思う。（その通りの格好をしたレコードジャケットをいくつか取り出してきて見せてくれる…）なんかね、凄い明るい陽気なバカみたいな音楽に見えるじゃないですか、でみんなでワイワイ踊ろうぜ！ってノリで。だけど実際はゲットーで暮らす人々は飢えていたりガンショットで人が死んだり…、貧困の状況の中で歌っている音楽だから。もの凄い暗かったり、辛い出来事なのに力強く歌いそれで踊る感じがレゲエだと思う。自分もそれに似たところがあると思う」

——そういった"レゲエ"という音楽シーンで活動していくうえで、心がけていたり狙っている点はありますか？

「狙っているかぁ…分かんないなぁ…でも、まわりくどいのはイヤですね。曲作りに関して言えば、普段使わない言葉とかをわざわざ探すのもなんか止まっちゃうんで好きじゃない。曲作りオタクなんですよ私。だからいつも曲のことを考えているんだけど、作ろうと思って物事を見ていると作れない。ひらめく！私は凄くひらめく！紙とペンを持たないと曲を作れない人もいれば、作るぞってきめた時にバッと作る人もいるけど、私は突然ひらめいて…そしてメモる！（笑）だからあの小さなラジカセは持って歩いているの（笑）出来たら止まらない。私、突然ひらめくあの感じが凄く好きなんだって！あとね、昔はそうだったんだけど、同じ歌を何回も歌うの大嫌いなんですよ！（笑）やんなっちゃう」



——だけど、昔のヒットナンバーをみんな聴きたがってたりして、その曲を歌えば必ず盛り上がるし？

「うあぁ、そうその通り!!痛いところをつかれた!!（笑）…そういった意味では、この間RADIXでやった、BOOGIE MANとかPAPA U-GEEとかのラバダブショウ、ああ言うのってレゲエらしいなぁって思う」

——もちろん、見ていた側も楽しかったですよ。まさにマイクの奪い合い、隙みて歌う、ラバダブショウってある程度のルールはあるんですよね？　「男も女も関係なんてないし、あの日はねぇ、BOOGIEの存在っていう物にもう凄いヴァイブを感じた！あの時はトリガーがパンキング（音をカットするなど、セレクターのする動作）だったでしょう、それがBOOGIEとガッチリ合って！もう、まさに殺されちゃった！そうして結局2時間半くらいやっていたんだけどね…。ラバダブに大まかな決まりはあるよ。様はラバダブは間の芸術なんだわね、人が歌っている時にいいタイミングでマイクを奪って歌う！その場の雰囲気を崩すとヘタクソ！みんなでマイクを回す訳だから、みんなで一曲の歌に聴こえないとダメ！っていう」



——昔懐かし、歌のゲームみたいですね。セレクターが司会者で、『じゃぁハイ！解るかな？』ってお題を出して解った人はマイク取って歌って！って…みたいですね？「そうそうそんな感じ！その通り！解らん人は歌わんでいいわけ。その代わりマイクは回ってこないという…人が歌った内容に対して"私はこう思う！"ってまた歌いつなぐ。別にルールとかじゃなくっても好きなようにやればいいんだけどね、だけどウマイとヘタはある！あのラバダブショウは私、女1人だったから、ブレイクの役割と言うのか、甘くさせる役割なわけで…色々と勉強になった」

——では最近、目に掛けているアーティストは？

「いいコト聞いてくれました！（笑）"Shing-Roy"という福井県のDJはいいですねぇ。ラスタ系のDJなんだけど、歌い回しがもうダンスホールで凄くいい!!一緒に曲も作っているんですけどね。メロディラインが凄くキレイでリズム感がいい。あと、岡崎の"Chaiser"それと、"NOCTURN"。あとは、「桜庭一志（さくらばかずし）」!! プロレスラーなんですけど知りませんか？（笑）遊び心があってメチャメチャ強いんですよ！真剣勝負で、バーリトゥド系の試合でも、モンゴリアンチョップとか出してくれるんですよ…プロレス技をしっかりキメるんです！」

——"プロレスラー魂"ってやつですか？

「そう！私もレゲエ界の桜庭になりたいんですよ」（笑）

——では今後のリリース予定を教えて下さい

「NOCTURNの新曲に参加しているのと、SISTERENレーベルから"いろいろないろ Party mix 2000"というオムニバスアルバムに参加。その中の曲が両A面、7inchでリリースされます！」

——NOCTURNの新曲にフューチャリングしてるんですよね？ヒップホップとのコラボレートはどうでしたか？

「"回転ジェット"という曲と"それなりのLOVE"の2曲参加しました。NOCTURNには、凄いインスピレーションをもらいましたね。言葉が自由でやわらかい！だから、凄いフィーリングをもらった。私、曲の作り方が堅かったなあって思った」

——それで回転ジェット!?という曲名に？

「そう、回転ジェット!!（笑）そう、ガメラの事を歌ってみたら歌詞のまんま回転ジェットに！インパクトあるよね（笑）もう1曲の方のDJ HAZUのリズム、物凄く狂っていていいです。そう言えば、私って"やわらかい歌を歌うお姉さん"ってイメージがあるみたいで…本当は違うんだって…!!」(笑)

——てことは2000年には、また坊主頭に!?（笑）（笑）!!

「来年は、自分らしさをもっと表面に出してイカれてみせる!!!」（笑）

MOMOE SHIMANO

GLAMOROUS TOUR at ATLANTIC

featuring LIBRO & CO-KEY

HOST MC : G-TON

DJ's : MURAKAMIGO & TOMOMI & MITSU







ニューシングル「Hot Glamour」も好評MOMOE SHIMANO a.k.a. MOETがCO-KEY、LIBROを率いてCLUB ATLANTICに登場！
名古屋からはMC G-TONとDJ MITSUとのユニットNOBODY KNOWSに
Feat.CRYSTAL BOYのハイテンションなステージでオーディエンスは大興奮！
LIBROとCO-KEYも負けずと安定したラップパフォーマンスで 懸命に客を煽る！
MOETは手慣れたステージングといった感じで堂々のライヴ！切ない歌声がお客達を魅了した。

GLAMOROUS TOUR at ATLANTIC

interview

MOÉT , CO-KEY , LIBRO & G-TON , MURAKAMIGO

MOETの念願!?だったというATLANTICでのライヴ終了後、CO-KEYとLIBRO、そしてHOSTMCを務めたG-TON、DJ MURAKAMIGOを迎えて雑談会を決行！ライヴでの汗が乾く間もなくしゃべり続けてくれたCO-KEYの炸裂トークが印象的だった。

MURAKAMIGO（以下 M）――今日のライヴはどうでした？

CO-KEY（以下 C）――いつもより多めに飛ばし過ぎまして、半ば俺自身との闘いになってました。42.195-- 、若干リタイヤしようかなぁと思いつつ完走した…ん～っと

G-TON(以下 G)――タタタッ谷口だぁ～!!!

C――そうそう！靴ぬげちゃった、谷口になっちゃいましたね(笑)

嶋野百恵(以下 MOET)――今日は楽しかったですね。演奏を上回る程のお客の勢いが凄かった。

M――なんで、この3人でやることになったの？

MOET――函館でイヴェントをやったんけど、その時に一緒になってそんで飲み明かし、気付いたら一緒に演ることに。LIBROはTONKを通じて知り合ったんだけど、彼のアルバムに参加させてもらったりと。

C――この業界は知り合うとみんな近いんですよ、プライベートとかでも仲良し。自然な流れですね。

M――MOETちゃんって突然仲良くなるよね(笑)たいてい、俺ってムラカミさんとか、ミーゴとか呼ばれるんだけど、3、4回目に会った時、いきなり"たっちゃん！"って、なんで俺の下の名前知ってんの～？って感じで(笑)

C――プライベート情報満載！

LIBRO(以下 L)――最初、ヒドイ名前付けてラップしてたんだけど、実際活動していくにあたってふざけた名前じゃぁマズイなぁって名前を付けました。

M――気になるのは、ヒップホップの人達は分かるけど、嶋野百恵a.k.a.MOETって一体なんなんだっていう…

MOET――a.k.a.はねぇ、本意じゃぁないんですよ。不本意(笑)　最初はMOETって呼ばれてたから、それでデビューしようと思っていたけど、あまりにも多かったんですよ英語の名前が、だから本名でと思ったんですけど、a.k.a.MOETって付けてもらった人がいたんでせっかくだからって…でも名前が長いんで嶋野百恵だけにしようって言ってるんですけど…気がついたらいつの間にかなくなってるんで、乞う御期待（笑）

C――じゃぁ、嶋野のシと百恵のモを取って"シモ"にすればいいじゃん！(一同笑)

M――LIBROは2回目だったけどどうでした？

L――誰も知らないんだろうなぁと思いつつも、意外と盛り上がってたから…

M――でも、LIBROの"キセキ"ってココの超ヒットナンバーなんですよ！

C――まぁ、キセキが名古屋で奇跡を呼んだってことですかねぇ。(一同笑)

M――最近、MOETちゃんをテレビで観たんですけど、他のR&Bシンガー達に比べて、何だろうこの人の貫禄は？って思った。風格があるっていうのか…

MOET――ふつう！ふつうやって！

C――ヤンキーなんです、元ヤン!?(笑)

MOET――バリバリ元ヤンです！(笑)

G――ナンシーな方向で…(笑)

M――MOETちゃんとかって東京でもやっぱ飲んだくれているの？

MOET――笑！

C――焼肉に凝っているらしいっすよ！

G――じゃぁ、好きな部位はどこですか？　大腸とか…

MOET――部位？(笑)ホルモンとかハラミ…かな

G――名古屋はハラミがあるとこないとこあるんですよ！

C――ハラミの旨い焼肉屋は大抵そこの肉はおいしい！

M――ところで、この3人、MOETちゃん、LIBRO、CO-KEYでやった曲「MY HONEY」もそうだし、G-TONもACOと一緒にラップしたりと、そういう、シンガーとラッパーのコラボレートって多いよね？

C――それはですね、みんなからしてみたら新鮮だったかもしれないけど、来るべき時が来たっていう俺等からしたら当たり前のコト。俺等にとってはその区切りがない。R&Bだろうがヒップホップだろうがレゲエだろうがジャンルの壁はない。リズムがあったら俺等は歌うし、だからみんなが思っている程、演っている本人はジャンルとか性別とか枠にとらわれない。俺等ラッパーで嶋野氏がR&Bって言っちゃうとそういう目で見ちゃうでしょ。そうでなくて１人の表現者として見て欲しいって言うか…。俺等は自分というものをフルに生かしてみんなに音楽の楽しさがちょっとでも伝わればいいなぁって。

G――うんうん、ちなみに俺はみんなにメロコアって言ってる(笑)今後の動き的には、リリースをしてプロモーションしていくの？

C――俺は止まらないって感じで！過去の作品にこだわってないっていうか、どんどん提供していく。お金払って来てもらっているから、俺等のやれることはどんどん音を創って提供していかなきゃと思う。

M――45℃(Street Flava Remix feat.CO-KEY)って幻のアナログって言われていて、手に入らないらしいですね。

C――それに関しては、問い合わせがあったりした結果、今度の嶋野氏のHot Glamourに入ることになったんだよね。

MOET――そう、ツアーでずっとそのバージョンでやっていて、明日からのライヴからCO-KEYがいなくなるんで、オリジナルでやるほうがなんか違和感があるなぁ。

M――3人のユニット名とか付けたりとかは？

C――あるかもしれないし、だけど今は個人個人で頑張って、そうしてまた時が来て一緒にやればまた凄いものになるっていう…今は今で限界があるというか。

L――今の立場で作ったって…って感じだし、まぁ個々が頑張ってまたやればでかいコトができるし。

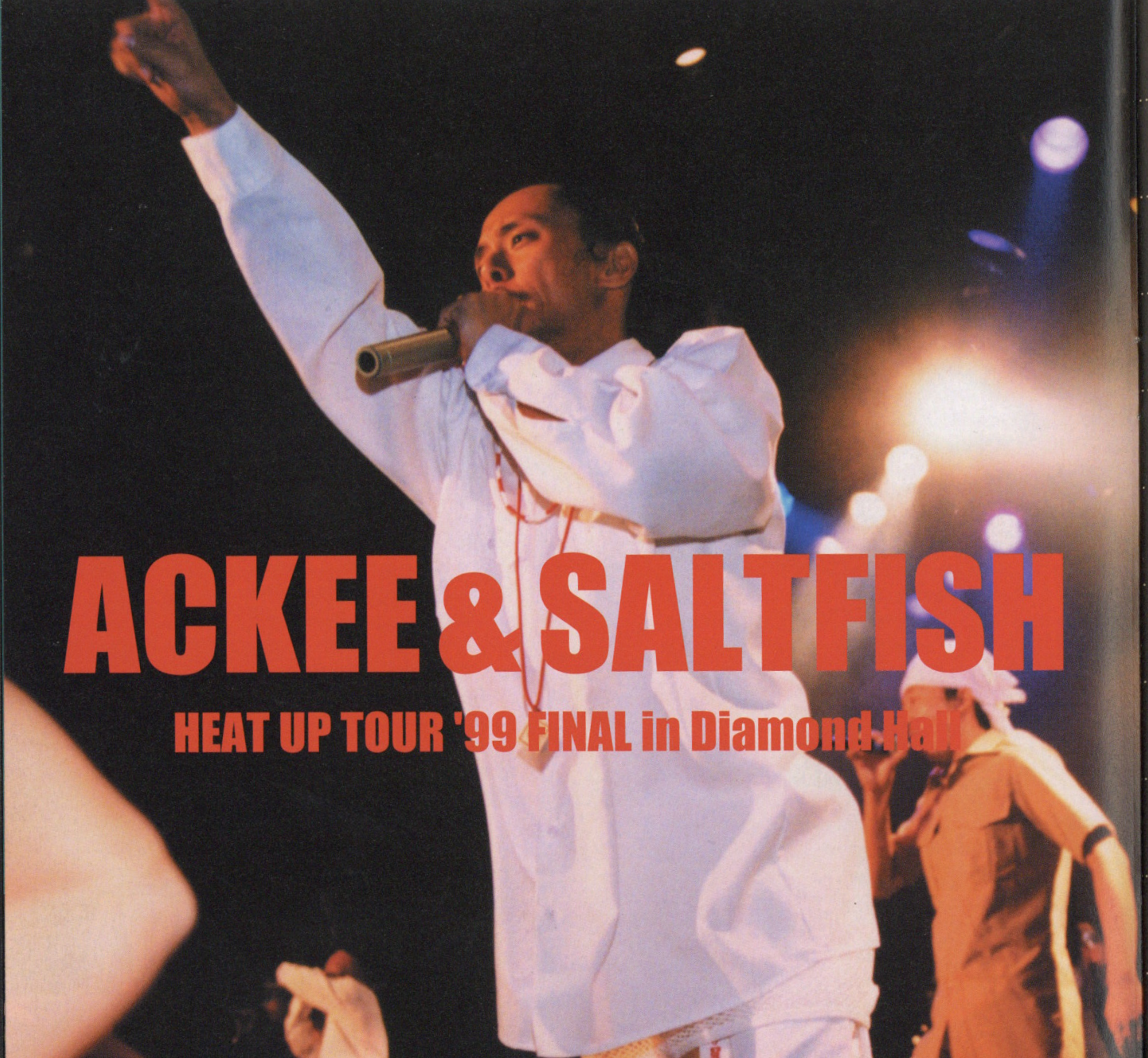
MOET――クラブでやったりしてもちろん面白いんだけど、なんかR&Bとか言われてて、それでラッパーと言われていて一緒にやるんじゃなくて、なんか、面白い企画として、ステージアップというよりもハッキリと色がでてきた頃に一緒にやりたいって思う。

C――自分という名前みたいなジャンルを確立したいっていうか、それぞれ面白いコトやっていれば、そいつらが集まればどんな面白いコトになるんだろう？っていう。エンターテイナーとして。

G――じゃぁ、もうMr.マリックのコラボレートもアリっていう。きてます！(一同笑)

C――今、ラップのシーンだけで言わせてもらうと、みんな知り始めているけれどまだ分かんないっていう状況があるから、1人でやるより2人で力を合わせて、俺っていうよりもシーン自体をまず底上げ。そういう意味を含めて活動していきたいなぁって。

■INFOMATION
12/18(土) Club aisa(東京・澁谷) "Be Happy Vol.5" 出演

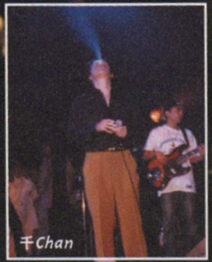


ACKEE & SALTFISH

HEAT UP TOUR '99 FINAL in Diamond Hall

今年も全国ツアーをこなし、最後ファイナルは名古屋ダイヤモンドホールにやって来ました。ACKEE&SALTFISH通称"アキソル"。言わずと知れた尾張名古屋の快男児が東海地区の9つのレゲエ・クルーとDJ、シンガー達と共に、一晩だけの夢の巨大ダンスホールと化し、ざっと1200人を越えたお客も見事に狂喜。実に盛大なビック・パーティでした。アキソルは自らの運営するレーベル"錦コミュニケーション"で名古屋に居ながら充分活動でき、毎年こんなビックなイヴェントまで成功させてしまうという…インディーズにいながら見事に証明している。その計り知れないパワーには驚かされるばかりだ。しかも、この日は3ステージも行うという（それぞれ1st.から3rd.までのアルバムに合わせて）まさに鉄人ライヴ！を行ったのであった。18時にスタートして、早い時間帯には上のクレジットに載っていない若手のステージ時間を設け、そうして2時間ごとにアキソルのステージ・ライヴが順に始まり、その間をサウンドシステムがフロアを揺らしていた。本来なら1つずつ紹介するべきだろうが、お分かりの通りホント凄い大勢の出演者なので…勝手ながら省略させて頂きます。
どのクルーも個性豊かで、迫力あり！来たお客に隙すら見せないくらいの、ハイテンションの連続で見事なまでの演出でした。その中でも、オリジナリティを感じたSAMURAIと相変わらずの迫力プレイのGUIDING STAR、一番最後のプレイにも関わらず客の勢いが物凄かったFIRST DESIGNは特に印象的でした。それにしてもアキソルの2人、2つのステージ・ライヴにGUIDING STARのサポートでのラバダブと難無く賑やかに演出するあたり、改めて王者の風格を感じたのと同時にこのイヴェントのスケールの大きさ、最初から最後まで通して東海地区のレゲエの勢いを確信することができた。


NAOTO&MAJOR-KEY


千Chan


LEJACK


MACHACO


PAPARIDDIM


DICE-K

18：00	開場
：40	SOLID GROWND BABY SUGAR / RISE OF MISSION
19：40	STAGE SHOW
20：40	INSPIRE
21：20	BUSH OUT She Waan Love （アキ＆ソル/レジャック/ナオト＆メージャーキー/マチャコ/千チャン）
22：20	DYNASTY
23：00	MIGHTY CLIPPERS
23：30	SAMURAI SUPER POWER
0：10	WATCH NUTT'N HEAT UP! （アキ＆ソル/トリガー/千チャン/ダイスケ/パパリディム）
1：10	KING DUDES
1：50	GALAXY EXPRESS
2：20	大抽選会
2：50	GUIDING STAR
3：20	NA TEK BACK （アキ＆ソル/レジャック/他）
4：20	FIRST DESIGN
5：00	みなさんおつかれさん

SOLID GROWND


BABY SUGAR


RISE OF MISSION



INSPIRE

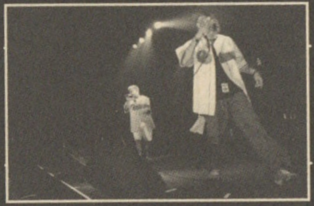

DYNASTY


MIGHTY CLIPPERS


SAMURAI SUPER POWER



KING DUDES


GALAXY EXPRESS


GUIDING STAR

3ステージの 鉄人ライブ！！

ACKEE & SALTFISH


FIRST DESIGN

RADIX 1999.10.23

DANCECREAM! ADONAI / TRAVELLERS / first DESIGN

"レゲエ本国ジャマイカから2大サウンドシステム来日！"

レゲエの本場はジャマイカから「ADONAI」「TRAVELLERS 」の2大サウンドシステムが名古屋の鶴舞にあるクラブRADIX にやって来た。
ベテランTRAVELLERSのプレイが始まると、流石は高い評価と信頼あるだけのことはあって、滑らかで余裕すら感じられる程のプレイを披露。しかし、まだちょっとフロアのお客さんにスタートがかかってない様子…。MCは遠慮なく騒ぎ立てていた、そうしてADONAIの時間に…。エチオピア語で「神」を意味するアドナイ。現在では若者のカリスマ的存在ということだけあって、勢いよくOLD〜NEWのヒット曲を炸裂！とにかくテンポの良いセレクターに、ハイテンションなMC！そして、T.L.Cなど無差別発砲って具合であっという間に興奮の渦になっていました。巧みなプレイでダンスを沸かす！感心の一言でした。しかし、2大サウンドシステムに一歩も引きを見せなかったfirst DESIGNの存在感も大きかった。いつもの堂々としたプレイで素晴らしいダンスを繰り広げていた。







OKAZAKI CAM 1999.9.18

GIANT KINGDOM PROTECT / WITS END / SWING ARM / MUTANT THE FATMAN / STRIKE OUT

"音、人、暴れる、OKAZAKI CITY"

岡崎市って何か独特で、個々にとてもエネルギッシュな印象を受ける街。セレクトショップBIRDOGの主催で行われたこのイベント。ライヴハウス・CAMにようやく着いたら1発目の MUTANT THE FATMANがちょうど終わった所だった…（残念）そして、岡崎でのライヴは何と初めてだったというWITS ENDだったが、演奏に負けんばかりの客の暴れっぷり！メンバーは楽しそうに演奏！次に、豊橋からSWING ARMの登場！相変わらず豪快な演奏に圧倒！天井のパイプにしがみつきながら歌っているVO.コウタが印象的だった。そして、地元岡崎、STRIKE OUTが始まる！まさにMINOR THREATを彷彿させんばかりの音にステージング！とても個性的で魅力的なバンドの一つだ。ラストは、東京からPROTECT！VO.のHIROTECTの奇声と共に演奏が始まる！どこまでいってしまうんだろう？というくらいのハイテンションのブッ飛び具合には降参!!飽きないステージングで楽しませてくれたのであった。遊びに来ていたTOMORROWが飛び入りで演ってくれるのでは？とちょっぴり期待していたけど結局やらなかった。こうして、第一回「GIANT KINGDOM」は大成功に幕を閉じた。

SWING ARM



STRIKE OUT



PROTECT



RADIX 1999.10.10

LIMITER CUTS DJ KENSEI / HAZU / YUKIJIRUSHI / CAUJOON / YONE

"DJ陣の高いスキルに魅了"

僕がRADIXに着いた頃はDJ YUKIJIRUSHIがフロアに集まった溢れんばかりのクラウドをガンガン盛り上げている最中だった。DJ YUKIJIRUSHIはN.Y系HIPHOP,R&Bの新譜を中心に2枚使い、スクラッチ等を織り交ぜ、これぞパーティーDJ という姿勢を見せてくれた。すると、突然、今までDMXやらQ-TIPやらの賑やかなラップが流れていたスピーカーから、重たくそしてクールに鳴り響く、とてつもなくドープなビート群が飛び出し、怪しくフロアを覆い出した。飽くなきビートの探求士DJ KENSEIの登場！KENSEIは唖然とする、汗だくになったクラウドを気にもせず、自分が本当にかっこ良いと思うビートを、時にスクラッチ、カットアップ等を交ぜつつ正確につないでゆく…彼のこだわり、一貫した信念のようなものを感じた。そんなKENSEIがプレイする様子から目を離す事ができなかったが、芯まで響くビートに常に体を揺らされていた。ラストはDJ KRUSHによるKODOのリミックス（歴史的名作！）を選びKENSEIのプレイは幕を閉じた。風通しの良くなったフロアに重たい和太鼓の音色が鳴り響いていた。

高橋茂之

HAZU



YUKIJIRUSI



KENSEI



CLUB JB'S 1999.09.18

KING STREET 6 YEARS ANNIVERSARY CD'S RELEASE PARTY DJ KERRI CHANDLER

"リビング・レジェンド"

NYのハウスレーベル、KING STREET / NITE GROOVESが6周年をむかえ、コンピCDをリリース、これに合わせてリリースパーティーをDJにケリーチャンドラーをむかえ全国各地で行った。ケリーチャンドラーは、90年にアンダーグラウンドヒットをとばしNJから登場、プロデューサー、リミキサー。作曲からエンジニアまで何でもこなし、ジャジー、マッド、スピリチュアルといった表現がぴったりな作風で活躍し続けている。

最近は生よりな音も取り入れつつ、今年に入ってからも良質な曲を連発している。久しぶりの来日となった今回、まず聴いたのは9/11日の東京COREでのプレイ。さすがと思わせるテクニックで、重いトラックから、新旧ヴォーカルものまで様々な曲で全体的にアッパーなプレイだった。14日、大阪DONFLEXでは終盤クロスフェーダを使うなどトリッキーなプレイも見せた。そして、ツアー最終日18日の名古屋JB'Sでは他の日と同様アッパーなプレイで引っ張りつつここでは終盤にアイソレーターを多用、帰国する飛行機の時間ギリギリまでプレイした。また、この3日間のプレイの中で一番気合いが入っていて、フロアーも最後まで盛り上がっていた。 野間 穣




KERRI CHANDLER

HUCK FINN 1999.10.31

RADIO FLYER ♯2 GENERATION INCREASE / ETERNAL B / WITS END / PROTECT / SCAR

"SCAR×PROTECT SPLIT EP RELEASE HALLOWEEN PARTY!!"

東京の半田商会からリリースされたSCARとPROTECTのSPLIT EPのレコ発＆ハロウィン仮装PARTYだったのですがSCARが解散でめでたいはずのライヴがとってもさみしい LAST GIGになってしまいました。1発目は若手NO.1のGENERATION INCREASE、メンバー 5人全員スクリームの格好で登場！1曲目からフロアのどこにいたの？という程のスクリーマー達がMOSHしまくり！2番目は東京からかけつけてくれたETERNAL.B。2月にアルバムを出してから約1年ぶりのHUCKでのライヴでした。そして3番目はWITS ENDの登場でフロアは一気にMOSHピットになってました。メンバーはおばけの格好で血ノリでベタベタ。お次は本日の主役PROTECTの登場。やはりPROTECTを観ていつも思う事は本トLIVE BANDだなぁと思います。ステージング＆テンションは本当に凄いです。そしてラスト、本日のもう1つの主役SCAR！色々とあって、当日1度キャンセルになったのですが、急キョ5人編成で、みんなの祝福の元、登場！解散LIVEで祝福っていうのも変だけどメンバーもみんなもさみしい顔は一切せず、とても楽しそうで1曲目から TAKE THE LEADの「FIGHT IT OUT」でフロアはメチャクチャ！演奏もメチャクチャ！で最高にカブキロックでカッコ良かったです。やっぱ、ギターのネギがいなかったのが少し残念だったけど、そんなことは忘れるぐらい楽しいハロウィンの夜でした。出演してくれたBANDの皆さん、どうもありがとうございました。そして、SCARのみんな本当におつかれさまでした。 KAZUKICK（この日の主役PROTECT&SCARのPhotoがなくて残念…）


WITS END


ETERNAL B

CLUB SIDE COLUMN V.A

KILLER SELECTION

アンプがなけりゃあ音が出ない！

BIG UPS

SUKU State XS・The Emporium

僕は名古屋に来てもう10年になります。実はちょっとしたビジネスで3ヶ月間だけステイする予定が色々な人達と出会いチャンスが巡ってきたのでとにかくチャレンジしてきました。そして10数年ロンドン・ヨーロッパ等で学んだ経験を生かして"The Underground"をプロデュース、お陰様でいいスタッフに恵まれて大成功を納める事ができました。現在も名前を変え、LUSHとしてMITSU、MURAKAMI他沢山のDJ、アーティスト達が頑張ってくれているので本当に感謝しています。基本的には僕は自分だけ大成功して"てんぐ"になるのは大キライなんです。だから、もっともっと名古屋のクラブシーンが活性していく事を心から願っています。もちろん僕も常にシーン全体が上がっていく事だけを考え前進しています。そして現在、2000年に向けて新たなるチャレンジとして12月9日OPENのNEW CLUB"THE EMPORIUM"をプロデュース。きっかけは現在、名古屋にはLUSHを始めそれぞれいいカラーを持ったお店が沢山あります。だから全く違うタイプのお店作りと考え…僕も気付けば34才（笑）ですから、もうちょっとアダルト的な雰囲気を持ったCLUBと思い、思いきってプロデュースに踏み切りました。EMPORIUMはとにかく僕がDJという立場からサウンドシステム、ライティングシステムにはかなりこだわっています。名古屋のCLUBは本当にいいヴァイヴがあるにも関わらず"サウンドシステム"という部分ではやはり海外より劣ってしまいます。僕はそこで考えました。EMPORIUMを頑張って成功させて、ここが基本になれば更に名古屋の CLUB全体がもっともっとレベルアップするのでは？と。やはりCLUBは"音が命"みたいな部分が全体を100%とすると60%は占めると考えています。サウンドシステム、ライティングシステム、デザイン等とにかく皆さん期待してて下さいネ！更に、LIVEに対応するステージングもかなりこだわりました。今後、名古屋で頑張っている音楽プロデューサー、シンガー、ラッパー、DJ等、 EMPORIUMや僕のスタジオ、STATE XSを通じてどんどんサポートしていきたいと思っています。例えばスタジオレンタル代もけっこう高いですし…僕は気持ちを一番大切にしていきたいのでお金の事なんか考えていません。シーンが上がるためなら何でも協力しますヨ！だからいつでも気軽に一声かけて下さいネ！最後に今まで沢山のいい人達に出会い、そしてサポートしてくれた事、心から感謝しています。そしてこれからもよろしくお願いします。LOVE&PEACE!! SUKU


SUKU/プロフィール
14歳の時にスクールパーティでプレイした事をきっかけにDJ活動スタート。ロンドン・ヨーロッパでCLUB DJとして地道な修行を積み、The Underground、Valbonnes等の一線級のCLUBにてレジデントとしてスキルを高め、90年来日、以降名古屋での地道な活動ののち、92年に念願のThe Undergroundをプロデュース、OPENさせる。

Positive Vibration

MOMIE first DESIGN

rootsもVOL.03を迎え、北川君をはじめとするスタッフの皆さん、いつもご苦労様。 2000年を迎えようとする昨今、早いもので、僕が名古屋に来て、8年の月日が流れようとしている。てなワケで、今までいろいろな人達と仕事をさせて頂いたその時々に、感じ取った様々なヴァイブス（ここでの意味は、"熱い魂"といった感じ…？）をテーマに書いてみようかと思う。

仕事柄、国内外のトップアーティストと接する機会がたまにあるのですが、彼等の生命体の強さ（本人達はあまりそのことに気がついてないんだけどね）に例外なく驚かされる。みんな、ただ自分の好きなことに没頭しているだけなのだろうが、MASSIVE Bのボビーコンダースなんかは、「レコード屋に連れていってくれ！」と言うなり助手席に乗り込み、着くやな否や、店内のレコードを片っ端からチェックして、「まだ店頭に出していないヤツまでも出してくれ」ってな勢いで、ダンボールの中のレコードを全てチェックして、仕舞いにはUSドルで支払う始末。これには、某レコード屋さんもビックリ。でもあっさり笑顔で承諾。また、先月来日したADONAIのオーナーのラリーの場合は、自分達のテープが日本でどのように流通しているか確かめる為にレコード屋に連れていってくれと行ったものの、たまたま自分達のサウンドのテープが置いてなくて、ちょっと気まずくなったと思いきや、バックから徐に自分達のテープを 3本出して、「これダビングして配ってくれ」と、超ハードスケジュールのなか、常にポジティブに、そのヴァイブスをさらりとのぞかせる。ここ名古屋にも、偉大なレゲエアーティストが数人住んでいるが、彼等からも同様のヴァイブスを感じとれる。とにかく、徹底的に自分達のスタイルを貫き通し、一切の妥協を許さない。その度に、彼等のヴァイブスを少し分けてもらったような気がして、それが自分の活力に変化する。未だに名古屋とばしのショーやイベントが多いなか、僕は常に現場に立っているわけであるが、徐々に状況は良くなっていると思いたいが、とらえ方はヒトそれぞれである。確かに分り易さは大切であるが、ここら辺で、受け手側も視野を広げて、ホンモノとニセモノの区別ぐらいは、つけれるようになって頂きたい。生意気かもしれないが、損しているのは、むしろ送り手側よりも受け手側かもしれない。


MOMIE/first DESIGNのセレクター、RADIX店長
"first DESIGN スケジュール"
毎週金、土曜日レギュラー（RADIX）、12/24（金）「DANCEHALL X'MAS （ムーミンと一緒!!）at RADIX」、12/30（木）四日市Yin&Yan、12/31（金）カウントダウン（みんなと一緒）at RADIX

ROCK SIDE COLUMN V.A

KILLER SELECTION

スピーカーなけりゃ音出ない。

Live House HUCK FINN

仲 井

roots　Vol.03おめでとうございます。HUCK FINNは1981年3月にオープンし、早いもので18年になりました。現在では減ってきていますが、ハードコアはもちろん、ロックン・ロール、ノイズ、etc…オールジャンルの色々なバンドが出演していました。最近は、パンク、ハードコア、メロコアが主流になり、ジャンルも増えて面白くなってきているとは思いますが、今の名古屋のシーンは停滞して来ていると思います。今年に入ってからは落ち着きをみせていますが、一時はハードコア・ブームや流行で異様に盛り上がり、「この人達は本当に好きとか、見たい、楽しみたいと思って来ているのか？」と疑問に思ってしまうこともありました。一部ではまだその傾向も見られますが、それはまた別物として見ることにしています。バンドの人達にしても、目標や、色々なアプローチの方法が有ると思いますが、もっと目標を高い所に持つべきだと思います。そして、バンドの数だけ音楽のアプローチの仕方があれば、この名古屋のシーンももっと盛り上がり、面白くなるのではないでしょうか？観に来てくれているお客さんも楽しみ方は様々ですが、もっと自分が感じたままに恥ずかしがらずに楽しんでみるのもいいと思います。「人が行くから」とか「流行っている」ではなく、もっと自分を持ち自分で色々な音楽やバンドを探してみたほうがいいと思います。昔よりもインディーズ・レコードショップがあり、恵まれていると思うので自分の足で探してみてはどうでしょうか？まぁ色々言わせてもらいましたが、色々なバンドが有りますし、本当にいいバンドも有りますので、色んなバンドを見て下さい、探して見て下さい。

最後に今年も12月31日に「COUNT　DOWN LIVE 1999」を行います。オールジャンルで出演バンドはこの日のライヴで惜しくも解散してしまう「S.D.S」他15バンドが決定しています。この日は HUCK FINN一押しのバンドばかりを集めました。是非この日のライヴを体感して下さい。あと出演バンド、お客さんに協力してもらいたい事があります。ご存じだとは思いますが、当店は再入場禁止、飲食等の持ち込み禁止となっています。又、最近付近のお店、住人からの苦情が殺到しています。ライヴ前、中、ライヴ後、打ち上げ後はたむろしないよう協力してください。今回この場を戴いたroots-mgさん、出演バンドの皆さん、お客さん、有難うございます。これからもポリシーのある、ライヴ・ハウスとして頑張りますので宜しくお願いします。

LIVE HOUSE
HUCK FINN
SINCE 1981

S.NAKAI 昭和42年3月26日生まれ
現在、Live House HUCK FINN店長



鼓〈その壱〉動 KODŌ

~Who the Man?~

謎人を独自に選出ールール無用ノンストップ30分1本勝負、今後の運命を賭けた世紀のデスマッチ！カンッ!!!



本日の第一試合
8 MAN TOWN

——強烈なインパクトを埋め込まれたヒップホップ ユニット「8 MAN TOWN　（エイトマンタウン）」 の登場！それじゃぁ、まず1人ずつ名前をお願いします

MC JUNPEY（以下 J）　8 MAN TOWNの特攻隊長のJUNPEYで～す！

MC　Mt.K　（以下 M）IQ 0でも愛嬌あるぞ！Mt.Kです。

DJ　SWEAD（以下 S）8 MAN TOWNの保護者のSWEADでーす！

——8 MAN TOWNって一体何者なの？

J　えっと、幼稚園の頃から高校まで同じクラスだったんですけど、みんな一言もしゃべったことなかったんでよ。全然（笑）それで、3人共、名古屋に住むようになって、そんでサークルKで偶然出会って、エロ本コーナーの前で結成しました！岐阜県の郡上八幡出身なんでエイト・マン・タウンなんです。

——結成してどれくらい経つの？

J　結成して1週間くらい。あっ間違えた！（笑）

M　結成して1年半くらいです！

J　僕は8 MAN TOWNをやる前に"ヒラメキ"っていうのを、サトケン、クックと3人でやってたんですけど、あの～そのサトケンっていうのがカトケンよりも面白いサトケンなんで（笑）今は充電中みたいなんですけど…、コメダのコーヒー屋によく居ます。

——ラップはお笑い、ギャグ中心だけどその辺は？

M　僕等はだいぶアホなライヴパフォーマーってことでやってまして…

S　それはいいんだけど、練習の時に僕の家でやるんですけど、前なんて中日ドラゴンズのネタをやってた時なんて、ホント1日中、「燃えよドラゴンズ～！」って叫んでいてマジ近所大迷惑！熱狂ファンって感じでした（笑）

——ラップで、ネタというかよく言うフレーズを教えて

M　8 MAN TOWNがあうんの呼吸！

J　サウンド補給！馬フンがドスン！

——では、影響を受けたり、好きなアーティストは？

J　あの、影響とか栄養とかは常にもらっていてええよう～って言われてたんで、常にいろんな音楽を聴いています！

——活動していて周りの反響は？

S　うちの親は喜んでいますね（笑）ただ、最近スキンヘッドにして変な宗教やってるって思っている!?(笑)

J　宗教に僕、詳しいんですけど…（と、そこで風水の磁石を取り出す）風水とか詳しいんでよろしく！

——そう言えば凄い格好してるね。

J　今日は坊さんスタイルで来ました！イエーイ！浄土真宗、本願寺派なんですけど僕は…。やっぱりそういった日本の心をと、3日前から思いはじめました（笑）

——今までに音源は出ていないの？

J　カセットを出してはいるんですけど、それは売ってる訳じゃなくて、ウマイ棒の応募券を3枚集めた人にもれなく差し上げています！

——それはどこに送ったらよいのかなぁ（笑）ところで普段は何している人なの？

J　デザイン会社に就職したんですけど、辞めて今はアルバイトしています（涙）

M　ネクタイを毎日絞めて、昼は営業マンで夜はエイトマン！（笑）

——ライブ活動的なコトは？

J　北は高山から南はJB'Sまで（笑）やってるんですけど…。僕達、岐阜出身なんですけど、1円拾えばユニセフ寄付！いい人俺等は本籍ギフ！

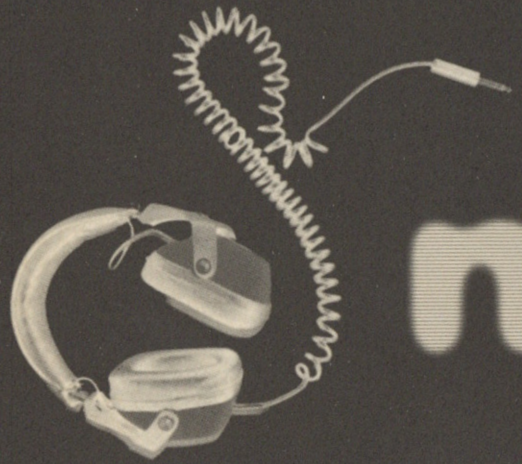
M　レギュラーイヴェントだと、"RHYTHM&IZM"です！

J　8 MAN TOWNができたのもRHYTHM&IZMで、8 MAN TOWNが始まったのもRHYTHM&IZMなんで、一番大切なイヴェントです。だからぜひ遊びに来て楽しんで欲しいです！

JB'Sで毎月行われているヒップホップのレギュラーイヴェントRHYTHM&IZMで彼等のライヴを初めて観た。モロお笑いラップだと言ってしまえば聞こえが悪いが"燃えよドラゴンズ～！"とか"キンニクニクニクニクジュウハチ～！"などなどを連呼し、くどいまでのギャグラップ!?を披露していた。ヒップホップが持つ発想の自由さを改めて実感させられた。上手なテクニックが有か無いかだけではなく、そういった発想も大切だなって感じた。思わず笑ってしまい自然とリズムに体を揺らしてしまう。だけど彼等は真剣に笑いをラップしまくる。そんな時にお客も真剣な眼差しでライヴを観ているもんだから余計に可笑しかった。まだまだ可能性を秘めた謎の3人、このインタヴューだけで彼等を理解するのは当然不可能ということで機会があればライヴを観ることをお勧めします。今後も彼等が持つオリジナリティを生かして自由な発想で活動してもらいたい。

music byte

brandnew disc review **20**



STAB 4 REASON and The Styles / WAKING OR SLEETING　RE
ROOTS REGGAE / 7inch EP / [RADICAL EAST]



岐阜のBAD BRAINSことSTAB 4 REASONの今作品は7インチのドーナツ盤。てことで両面共にレゲエナンバーで聴かせてくれてます。ハードコアのバンドがどうしてレゲエの曲を？なんてヤボなことはおいといて、確かに若干の違和感を感じるはものの見事なまでの完成度。and The Stylesということで参加楽器も増えていて、B面のLIVING WITH MY TEARSのピアニカとギターのメロディーラインは絶妙。A面ではルーツ・レゲエに少しダブが入った感じでヴォーカルも気持ち良く歌い上げいい感じ。だけど曲自体がちょっと短い気が…もっと聴かせてくれ！（やや69）

KEI / KEI　?
OTHERS /CD / [COUP / CCD-001]



カッコよすぎる。ヤラれます。激ヤバ!! アンビエント～トランス系のクラブイベントでもおなじみのソロギタリスト、ＫＥＩの１ｓｔＣＤが発売される。ギター１本で生み出されるその音は、トランス、チルアウト、そしてダウン・トゥ・アースな感触など、宇宙のすべてが一つとなった、いわばZen Sound。まさにすべてが解放されるこの快感！これをネタに使いこなせるＤＪの登場を待つ。そして初回プレスは本と見間違う、激シブ美麗パッケージ。　（COPPI/タワーレコード）

V.A / ONE FOR ALL　HI
HIPHOP / CD / [UNIVERSAL MUSIC K.K.]



MEGA FORCEが立ち上げたNEW SCHOOLとCLUB CITTA'が手を組んだ新たなレーベルSun fish Recordsから、ヒップホップ若手発掘型コンピレーションアルバム「ONE FOR ALL」がプロジェクトされた。現在のヒップホップ・シーンをリードしているラッパー達の次の世代、東京中心の若手ラッパー達の元気で勢い溢れる作品。クオリティーの善し悪しよりも、興味深さがあると言っていい。参加アーティストは、妄想族、出雲&RYU from 026crew、010、DOPER MEAN他9アーティスト参加。（やや69）

V.A. / AMERICA ES BELLA･･･PARA VIVIR RESISTIENDO　P
PUNK / LP / [CRYPTAS]



南米HC COMP.では今年の最高作品であろう。このレーベル独特のかなり音圧の低いレコードではあるが、どのバンドもすばらしい楽曲を提供している。その中においてシングル盤にて多くの支持を得た"FERTIL MISERIA" "OS MOCOS"が頭一つ出た存在感を放っている。前者においてはシングル時よりも数段アップした詩趣に富んだ成長の跡を残している。先進国の何の中身も無い使い捨ての娯楽音楽で溢れかえる現在、彼等の主張はあまりにも生々しくリアルであり欠して口先だけでは無いハードコアが存在している。まるで「あんたたちのどこがハードコアなんだい」と叱咤されているようだ。ここでのCRUDOS収録は私的には蛇足。　（中村 / ANSWER）

ALBATROSS / Albatross　P
MIXTURE - HARD CORE / DEMO TAPE



鶴舞のDAY TRIPを中心に勢力的に活動しているメンバー4人から成るバンドAlbatross （アルバトロス）の初音源となる3曲入りDEMO TAPE。これを機に、東京、大阪など幅広くライブを行っていく様子。彼等のミクスチャー的サウンドは、いろいろな要素を散りばめつつも曲の展開や変化を上手に付けている。ヴォーカルも内容的には聴きごたえ充分で演奏に乗っかって歌声が全面に出ていてまとまっている。サウンドの鋭さ、音の味わい的には名古屋のRAGE AGAINST THE MACHINEって感じだ。（やや69）

1999 Technics DMC US final / HIPHOP Battle　HI
VIDEO / [DMC]



久々にビーチクがギンギンにおっ立った一本を紹介！私はDJではないので詳しいテクはイマイチ分らないが、クラブスクラッチやらフレアスクラッチなどの最新のコスリが次々と炸裂して、とにかくすさまGeeya!!思わずミキサー買い替えちゃいまひた。本当にテンションのあがる一本です。バッチリHIPHOPしてます。インドにいる某DJもようやく最近手に入れたそうで、なにより。じゃぁ股！！
（ノロピー/DISC JAM）

WOONAGY, DJ ASAO / ROCK IN THE POCKETS　HI
HIPHOP,R&B / MIX TAPE / [UP SET MUSIC]



ラップユニットMUJINAのラッパーWOONAGYが主催するカセット・レーベル「UP SET MUSIC」から、WOONAGYとDJ ASAOが片面ずつ担当している。WOONAGY面は自分の好きな曲といった感じでKETH SWEATからPRINCEにDESTINY'S CHILDと様々。一方DJ ASAOは KRS ONEからEPMD…と全快ヒップホップぶり。もっとそれぞれの個性が発揮できたら面白くなるだろうに。「ROCK IN THE POCKETS」ヒップホップってほんとロックだなぁ…って。　（やや69）

DJ CAUJOON / OBSERVE OF MAN　HI
HIPHOP,R&B / MIX TAPE / [ACMEDIA]



実績充分、勢いを増すACMEDIAが誇る親玉、DJ CAUJOONの新譜ＭＩＸ主義ぶりを感じるこのミックステープ。METHODMAN&REDMANに始まり、ACMEDIAのRAP RYDERS、DR.DRE feat.SNOOP DOGG…とかなり楽しませてくれてお得。一気に最後まで聴けてしまい、なんだぁ～、またぐるっと回って最初から聴いて!?両面3回ずつぶっ通しで聴いてしまった!?くらいのスムーズなテンションなわけで、クラブに遊びに行く人は必ず欲するはず。現場の活動も目が離せないACMEDIAに注目。（やや69）

CAPITALIST ALIENATION / CAPITALIST ALIENATION　P
PUNK / CD / [CRUST'N' CORE]



昨年の再発ラッシュの中でリリースされた埋もれていてはいけない一枚。80年代中頃のカナダのバンドで女性ヴォーカルのノイヂーなクラストバンドといった感じだが、その壊れ具合は全くもってすばらしい。無理に例えるならCOLLAPSE SOCIETY、PANDEMONIUMあたりに近いと言えば良いのだろうか。音の潰れ方が尋常ではないしそれが？？？？？大な破壊力を生み出している。10年以上この手の音楽に触れてきた私自身、全くノーマークであったことに恥ずかしく思う。とにかくまだまだなのである。発掘専門のレーベルも増えつつある現在、私を身震いさせてくれる一枚をいつも心待ちにしていることは言うまでもない。　（中村 / ANSWER）

THE MEANIES / 10% Weird　P
PUNK / CD / [PET ROCK]



最近、彼等のアルバム"10% Weird"が日本にてリリースされた。又、来年の夏にはニューアルバムをリリースするという噂だが、このクランチかつメロディックなCDには引き付ける2分間パンクソングが収り、充分に満足できる。彼等がすごく日本音楽に影響（GUITAR WOLF,THE 5678'S等）を与えたことは誰も不思議には思わないだろう。なんに
しろ真のパンクロッカーは手に入れる　（DJ Bear）

NJE / Introducing NJE　J
JAZZ / CD / [UPSIDE LABEL]



ジャズグルーヴ、ジャズファンク、アシッドジャズ…ファッション的なアプローチでしか表現出来ない上辺だけの連中が多いこのシーンの中で、名古屋というどちらかと言えば保守的な街で10年以上、ビ・バップを演奏してきた彼のサウンドだけが唯一正統であり本物なのである。この作品は21世紀を目前にひかえた彼と彼のグループのこれから始まる大いなるプロローグである。　（WILLIE WHOPPER）

MICKY / MICKY SHOW　RO
POPS / CD / [MUSTANG RECORDS]



長年の間、名古屋のCLUBでのライヴを中心に幅広く活動しているシンガー、ミッキーの初の音源となるこのアルバム。どんなトラックがきても平気、ハウスからヒップホップにR&Bまでとシンガーぶりを発揮。時にはやさしく歌い上げたと思えば、叫び吠える様な歌を披露するなど…謎を秘めたMICKY。そんなアルバム「MICKY SHOW 」はその名の通り彼女の魅力がたっぷりと詰まっているおもちゃ箱…。開けるとショウがはじまるぞ。　（やや69）

Naughty By Nature / The Blues　HI
HIPHOP /12inch / [ARISTA]



んだちょ♥　最新アルバム"Nature's Fury"からのシングルカット"Wicked Bounce"の B面。個人的にアルバムベストカット!!女VO.より断然男VO.支持派の私が好きなグループの一つNEXTをFeatというより、NEXTの大Hit "TOO Close"路線のバウンミーかつメロディアスなHIPHOP R&B。Kay Geeはこの手の曲作らせたら本当にうまいです。" Jamboree"よりこっち。
（夜桜/DISC JAM）

V.A. / FUNKY MIX 39　HI
HIPHOP /12inch × 2 / [FUNKY MIX]



最近のヒップホップはみんな同じでつまらないとお嘆きのあなた。ありますよ、わけわかんねぇのが。FUNKY Mix B-2。正常なDJならまずかけないBPM137!!もうパラパラからつなぐしかないイケメンチューン！ちなみにポックンはLUSH水曜ワイスマで9～10時のゴールデンタイムにかけています。2次会に来たサラリーマンは大喜びです。あと、困った時はGOTTAMANのRMXかけとけばOKというとってもお得な一枚！パイパン!!　（sea毛Nator/DISC JAM）

HI	HIP HOP	P	PUNK / HARD CORE
SO	SOUL / R&B	J	JAZZ
RO	ROCK	T	TECNO / TRANCE
HO	HOUSE	D	D'N'B / BREAK BEATS
RE	REGGAE	?	OTHERS

V.A / ALIENSLAP From NAGOYA · SEX,DRUG and PSYCHOBILLY　RO
PSYCHOBILLY / CD / [ALIENSLAP音楽出版]



サイコビリーファンお待ちかねの、期待を裏切らない内容のオムニバスCD「 ALIENSLAP From NAGOYA・SEX,DRUG and PSYCHOBILLY」が12/1に名古屋から全国に向けて発売する！'93年頃から現在も行われているサイコビリーイベント「ALIEN SLAP From Nagoya」を企画している、DJ KIYOBILLY(元 MAD MONGOLS)がこのオムニバスアルバムを手掛けたのだ。収録バンドは、EIGHT MEN,NINE,MAD CHERRY,DEMONIO,O'CLOCK-K-BEANS,BOOGIE MEN　計6BAND。　（やや69）

SHOTGUN WEDDING / I'M WALKIN'　P
MELODIC HARDCORE / MAXI SINGLE / [SME Intermedia]



関東を中心に活動を繰り広げているSHOTGUN WEDDINGの待望の1st.MAXI SINGLEが遂にリリース。今まではコンピレーションCDなどに参加し、ライヴでコンスタントに活動してきた彼等。ポップで疾走感あふれるメロディーにちょっぴり力強い太いヴォーカルが絶妙にパンクな感じで、洗練されすぎで早弾きなメロコアではなくって親しみが湧いてきますよこれは。マキシシングルということで3曲入りで、3曲とも聴いた印象が明らかに異なる感じでこの先が気になるところだ。この作品によって充分に SHOTGUN WEDDINGの存在性を放っている。（やや69）

KAANA / Dreams Come True　SO
R&B / MAXI SINGLE / [ALPHA Enterprise]



カーナの「そっと目を閉じて」「強く・やさしく」に続く第3弾マキシ・シングル「 Dreams Come True」　この曲は彼女が東京クラブ・シーンで4年以上に渡って歌い続けてきた代表曲の1つ。わりとムーディーな演奏に、美しい響きの歌声-カーナ節がいい感じに効いていて満足。頭ん中にはさわやかな朝の高原っていう香りが漂いますねコレは…。テレ朝の某番組のエンディング・テーマにもなっておりお茶の間からも耳に入ってきます。REMIXをシャカゾンビのツッチーが担当ってことで忘れてはいません。（やや69）

Camelle Hinds / Vibe alive　HI
UK SOUL,R&B / LP,CD / [expansion]



UKのソウル・ファニクバニド"Central Line"のメンバーでもあるCamelle Hindsのアルバムです。まずポジティブに響く彼の唄声と美しいコーラスに耳が奪われます。生音での優しいバックサウンドもどれも質が高く、幅広く音楽好きにアピールできる作品となりました。Leroy Hustonが書いた曲やDonald Fagenのナイスカヴァー等含む、全8曲はどれも素晴らしく、ホームリスニングに適した、繰り返し繰り返し聴きたくなってしまう好アルバムです。　（高橋/BOUT RECORDS）

WARREN G / I WANT IT ALL　HI
HIPHOP / LP,CD / [G-FUNK]



ウォーレンGのサードアルバム。シングル「I WANT IT ALL」に？？/著な、心地良さ溢れ、レイドバックした雰囲気を持つ曲が全体を占めます。豪華ゲスト陣も（なつかしい人達も！）彼の意向に従いいつになくスムージー。義兄ドレは新たな境地を切り開こうとしていますが、G-FUNKオリジネイターであるこのウォーレンGには、NYでもサウスでもUKでもなくLAでしか生まれ得ない根っからのメロウネスとクールネスがまだまだ備わっているようです。往年のファンの期待も裏切らず、且つ新たなるファンも多く増えることであろう傑作。（Dr.峰/BOUT RECORDS）

SHOESTRING / REPRESENTIN' TILL THE WORLD ENDS　HI
HIPHOP / LP,CD / [TOMMY BOY]



最近、町中では気分の悪いおかしなHIPHOPのような物が流行しているようですが、本場アメリカはFlint Town（分からん奴は辞書で調べろ）からこの人、SHOESTRINGが3年ぶりに（ソロとしては初）アルバムをリリース！現在、他のメンバーは全員オリの中という辛い状態…中でもBOOTLEGは無実の罪で入れられたとの事…そういえば、 BOOTLEGのちょい前に出たソロのジャケは刑務所の前での写真だった気が…そこでオレの一押しのタイトル曲！REPRESENTIN' TILL THE WORLD ENDS（世界の最後まで訴え続ける！）どうせ、勘違い野郎には何を言っても分からんだろうね。　（OZ）

AKINORI (INSPIRE) REGGAE	毎週木曜 "激空間" at RADIX
最近ますます寒くなってきた今日このごろです。全てのブラックミュージックファンの方々はどのようにお過ごしでしょうか？さて今回のレゲエチャートは見ての通りレゲエファンには納得！そうでない人は参考になるかならないかは本人次第！！はボブマーリー'73の名曲をREMIX!!フューチャリングは息子達!!$ は今、ジャマイカンで人気の3アーティストのコンビネーションチューン!!イケてます。今、あなたがこのrootsを読んでいる頃は2000年を迎える前か、迎えた後だと思います。2000年を迎えるということは大変凄いことだと思います。今を生きていることを親に感謝しなければなりません、以上。	1 BOB MARLEY feat.MARLEY BROTHERS&GHETTO YOUTH / KINKIY REGGAE(2MIX) / TUFF GONG 2 SANCHEZ / STILL THE ONE / DOWN SOUND 3 WAYNE WONDER feat.SUPRISE / KEEP FORGETTING / VP RECORDS 4 BEENIE MAN,T・O・K,VEGAS / RELOAD / PENTHOUSE 5 BUJU BANTON / WANT A PEICE / STONE COLD

ムラカミーゴ R&B	毎週金曜日 "CHECK MY MELODY" at LUSH / 毎週土曜日 "FEVER" at LUSH
毎週金曜日は、ハギワラ3と吉田さん、土曜日は、境くんとハズくんと共に頑張ってます。LUSHです。よろぴく。僕ちゃんが必ずと言っていい程PLAYする曲ばかり選びました。①はナイスダンクラのカバー。②は女子が大好きなさわやか系。③は彼女のベスト（個人的に）。④はCJマッキントッシュによるグッドミディアム。⑤はQD」によるリミックスが最高。新しい音も好きですがこの辺りはいつ聴いても良い。良いものは良いってことで…。	1 COMMUNITY / OVER LIKE A FAT RAT "95" / CLASS X 2 BASIA / DRUNK ON LOVE / EPIC 3 PEBBLES / GIVING YOU THE BENEFIT / MCA 4 YASMIN / WANNA DANCE / GEFFEN 5 TEVIN CAMPBELL / STRAWBERRY LETTER 23 / WB

DJ YACHIKI R&B / HIP HOP	毎週土曜日 "NAGOYA B-BOY'S" at CLICK / 月1回 "DELIGHT" at buddha
①B.I.Gの新曲です。BIGのフローはやっぱし良いです。②のオリジナルはスペイン語だったけど、今回は英語でメソッドマンの所はサイコー。③今、イブとラフライダースを持ってないのはマズイです。CLUBでは、合唱しましょう。④プロデュースはノリエガを手掛けたネプチューンで、N.Y.でめちゃはやっているR&B良いです。⑤はQ-TIPのNEWソロカットです。これは、僕の一押しの曲で、CLUBでも必ずかける一枚です。	1 THE NOTORIOUS B.I.G / DEAD WRONG (12inch) / BAD BOY 2 BEATNUTS feat. METHDMAN / SEACABO (REMIX) (12inch) / LOUD 3LET'S TALKA BOUT / EVE (12inch) / IN TERSCOPE 4 CAUGHT OUT THERE /KELIS (12inch)/Virgin 5 BRETHE&STOP/Q-TIP (12inch)/ARIST 2001

SPECIAL AGO DUB	不定期 / "Pressure Override" / at TEXTE
①セッション風のトライバルなダブ。余分な音が入ってないのが良いです。弾力のある丸っこいベースが最高②NOTダンスホール。異常に抜けのいい空間性抜群のデジタルルーツ③ファズギター炸裂！煙モクモクのサイケデリックダブ。メジャーフォースの十八番④ギャルの切ない弾き語りにタメの効いた重たいストンプでストライクゾーン⑤オリジナルはハッピーすぎて気恥ずかしいけど、スクラッチ・パーヴァーツ・ミックスはハメチャメチャで楽しい	1 Lascelles / Dropping Bombs(mind straight) / Beats&pieces 2 Sizzla / Rain showers(Bronx Dog Akai Dub) / Jet Star 3 Major Force International / At Random / Ape man 4 Karry Walker / Fillmore / Ubiquity 5 Clinton / Buttoned Down Disco(the scratch perverts boilin the bug mix) / Hut

DJ 4-SIDE SOUTH&WEST HIPHOP	毎月第2土曜日 "SOUTH&WEST NAGOYA" at WILD SWAN
この度、G.T.P.THUGと名乗ってMIXテープを出しました。内容は、ギャングスタラップ、オンリーの90分!!普段、N.Y.のRAPを聴いている人、少しでもRAPに興味のある人は頭の中をカラにして一度、聴いてみてください。自分はサウス＆ウエスト ナゴヤというイベントを毎月第2土曜日にワイルドスワンでやってます。そこでイベントならではの音、雰囲気を感じとって下さい。NEWS-年明からは場所をJB'Sに移して行います。是非遊びに来て下さい。	1 THICKER THAN WATER / SOUND TRACK / HOO-BANGIN 2 SHOESTRING / ELIE / TOMMY BOY 3SOUTH COAST BALLERS / BOUND HAPPEN '99 / BIG BALLER 4 BIG MIKE / MADE MAN / RAP-A-LOT 5 LIL TROY / WANNA BE A BALLER / SHORT STOP

YANOMIX a.k.a.EDGE先生 R&B / HIP HOP /REGGAE	毎週火曜日 "不夜城" at LUSH
EDGEの効いた5枚を御紹介。①効きすぎ、ヤバイ。まさにタイトル通りの最高な一枚。②サントラからの大定番曲！やっぱかっこ良し。③大好きな3rd LP。全曲いいっス！アドロック好きが多いが、オレはMCA。④ノリノリのバスケチューン！EDGEは効いてない。⑤そしてコレでしょう。	1 PUBLIC ENEMY with ANTHRAX / BRING THE NOISE(RMX) / Def Jam 2 HOUSE OF PAIN with HELMET / JUST ANOTHER VICTIM / EPIC 3 BEASTIE BOYS / CHECK YOUR HEAD (LP) / GROUND ROYAL 4 RED HOT CHILI PEPPERS / MAGIC JONSON / WB 5 LL COOL J / ROCK THE BELLS / Def Jam

TAKAHASHI HOUSE	毎月第3金曜日 "JOURNEY" at CLUB JB'S
①オーソドックスな男性ヴォーカルハウス。黒い②ちょっと前のリリースですが、かなり良いです。オススメ！③少しハードでテクノっぽいけど、今一番沢山欲しいタイプの曲。好き嫌いありそうですが、個人的には大好きです。④フランス産4曲入り超ディープEp。クラシカル！⑤さわやかなな女性ヴォーカルハウス、LATIN MUSIC!!	1 FUNKY PEOPLE / FUNKY PEOPLE (REMIXES) / SLIP'N' SLIDE 2 THE RETURN / NEW DAY / 4 TH FLOOR 3 DAVID ALVARADO / KLUGH / OVUM 4 DJ JUSTIN& DJ KEMIT / THE MAIDEN EP / SILVER NETWORK 5TIEFSCHWARZ / MUSIC PART2 / BENZTOWN

DJ'S CHOICE

NOT DJ's CHOICE

KANJI Photography	日々、写真撮ってます
D.O.V.、DEATH ROLL、サイコー。スゴイです。綾戸智絵さんには興味津々というか、ビックリ～うん、色々なものを与えてくれると思います。（僕なりの受け止めかたです）LIVEはまだ、見たことがありません。JAZZ（Vocal）のアーティスト、曲、サイコーなものがありましたら教えて下さい。③のLop-pow（曲名)は、とにかくアッタカイです。ジャンルを問わない自分としては、今は「FUYAJOE 1st ANNIVERSARY MIXTAPE」を聴いています。色々とあってサイコーです。お邪魔しました。	1 chie ayado / CARAVAN / ewe 2 chie ayado / SENTIMENTAL JOURNEY / ewe 3 Babs Gonzales' Three Bips And A Bop / Lop-pow (Gonzales) / BLUE NOTE 4 D.O.V. / PITH UP / BOOM KICKER 5 DEATH ROLL / SOCIAL CORRUPTION / BOOM KICKER

Die (TOMORROW-BASTARD VOICE)	年間約3回程、日曜の昼「限界破滅GIG」岡崎シビコ裏
①彼の歌に何度も励まされ、何度も力を貸してもらった。最高のフォークシンガー。必聴必見！②LIVEも人柄も最高！最近の影響させられた豊田の超兄貴BAND！要注意だ！③歌のメロディラインに涙！ROCKって感じ、やさしい。④ROCK,ROCK,ROCK!! ギターのメロディーがすばらしい。曲のテンカイのセンスがたまらない。元気の出るBAND。⑤大阪の女性Punk Rock BAND。ハイテンションのVO.につっぱしるドタバタロックがかっこいい！作品チェック！	1 SION / 全アルバム収録曲 / 東芝EMI 2 ROTALY BEGINNERS / 全曲 / ANSWER 3 dr.SNUFKIN / 全曲 / 4 THE GET UP KIDS / 全曲 / Dog HOUSE 5 DEAD UPs / DEMO TAPE～1st EP /

DA13UKE	
仕事トイウカ、コンピューターデチャカチャカヤッテルヨリ、オイシイハーブガアルトキニキイテルノガスキ。①1曲目ニイキナリ40分。ダメダコリャ。②モウスグ何カシニクルBristolノオッサン。③2枚組ノドッチカノ曲。全部聞イテルトオエ～、デモスッテリャダイジョウブ。4ハRYUちゃんハ生デ見タラシイ。ミタラシタベタイ。⑤JET SETノバカ2人組、Se-1&タカシニ感謝ソシテ合掌。ナンマイダ。コイカキイキイ。ン～キイテキタ！！	1 TELE:FUNKEN / FLYING SAUCER ATTACK / PART ONE / 2 KRUST / high plains / 3 NINE INCH NAILS / STAR FUCKERS,INC./ 4 SUN PROJECT /380 VOLT / 5 R.C succession / ヒッピーに捧ぐ /

KAZUKICK (DO IT 052 FANZINE)	カレー曜日"RADIO FLYER"at HUCK FINN
roots magazineということで自分のROOTSになったものと言えばやっぱりコレ!!全ての作品が説明不要だけど、①は名盤中の迷盤!!②は「星をください」を聴きながら獅子座流星群を観に行ったらマジで1コも見えんかった!!③は当時流行の学園ドラマ「はいすく～る落書き」で大ヒット!!ちなみに～2の主題歌の「情熱の薔薇」も大ヒット!!④は唯一後期の作品で「STICK OUT」とほぼ同時期に発表された隠れた名作。まったり気分の時はコレがいいんだわ？⑤は知る人ぞ知る1985年12月24日のLOFTのX'mas LIVEで無料配布された伝説のソノシート。僕たちを縛りつけて1人ぼっちにさせようとした全ての大人に感謝します。	1 THE BLUE HEARTS / THE BLUE HEARTS / meldac 2 THE BLUE HEARTS / YOUNG AND PRETTY / meldac 3 THE BLUE HEARTS / TRAIN-TRAIN. / meldac 4 THE BLUE HEARTS / DUG OUT / MMG 5 THE BLUE HEARTS / 1985 / 自主製作

infomation

■12/3(金)
Dimitri From Parisヨーロッパ・ハウスシーンの第一人者デミトリ・フロム・パリスがクブ・JB'sにやってくる。サポートDJ・Jinzai,Jin（CLUB JB'S　052-241-2234）



■12/4（土）
「NAGOYA ALL　STARS 2000」名古屋のヒップホップ勢が大集合！出演アーティストは御覧の通り！過去に例のないHIPHOPの最大豪華イベント！参加者数不明のパニックショ-!?（RADIX　052-332-0073）



■12/4（土）
CLUB ATLANTICにて栄のセレクトショップ「DEPENDS」の5周年記念パーティが行われる。珍しい顔合わせ!? DJ：HAZU,GUIDING STAR,KIYO,TAKASHI,KANEDA,HAGIWARA3

■12/4（土）
「GIANT KINGDOM」at OKAZAKI CAM岡崎市のCAMで行われているイベント。今回の出演は、NICEVIEW,SHITFACE,MARTEN'S,STRIKEOUT NOALLIGIANCE,M.O.A（INFO-BIRDOG　0564-23-0276）



■12/10（金）
「Reggae Christmas」豊橋のLAHAINAで一足早いクリスマスイヴェントが行われる。出演アーティストは、MOOMIN、MACHACO、HOME GROWN（LAHAINA　0532-33-3766）

■12/11(土)
「Champion Ship '99」総勢22人！で行われるでらパーティーチューン！まさに忘年会!! 岐阜市のセレクトショップ、Park Life&ROOKIEのPresents!! 記憶のない一夜を！　at Club CRACK-（INFO … ROOKIE　058-265-1364 まで）



■12/11(土)
「DOLPHIN WAVE」at CLUB JB'SゲストDJにSHINKICHIを迎えて、DJは、NAOKI,Se-1×タカシにVJ R313

■12/11（土）
「BALLERS」at LA COVIAレギュラーのHIPHOPイベント！　TOKONA-X,Equal,AKIRA,Causuke,KENSUKE,VONNO,Murray Mo, ゲストDJにOlee LOU



■12/18（土）
「BALLERS」at LA COVIAレギュラーのHIPHOPイベント！　TOKONA-X,Equal,AKIRA,Causuke,KENSUKE,VONNO,Murray Mo, ゲストDJにGREENE

■12/18（土）
「STARS ARENA SPECIAL 」豪華アーティストを迎えてのビックイヴェント！勿論サウンドはGUIDING STAR！　PAPA U-GEE,BOOGIE MAN,SISTER KAYA,MA-CHACO,ATOOSHY,Jr.DEE,YO YO-C他、（RADIX　052-332-0073）

■12/24（金）
「RADIX presents DANCEHALL X'mas VOL.2」　クリスマス恒例のイヴェント第2弾！今回はスペシャルゲストにムーミンを迎えてのカップルには最適のライヴ！出演は、MOOMIN,SAMURAI,FIRST DESIGN,INSPIR（RADIX　052-332-0073）



■12/25（土）
「BILLY BASCADE 2000」SKILLZがPresentsするHIPHOPイヴェントがRADIXにて行われる！出演アーティストは以下の通り…
TOKONA-X,EQUAL,AKIRA,WOONAGY,CAUSUKE,KENSUKE,VONNO,YOSHIMARU,NAKAYAMAN,MITCHI,HAZE,ZORO,METRO（RADIX　052-332-0073）

■12/25（土）
「Ollie　presents Bボーイ超伝導ラジカセ魔 in NAGOYA Fresh X'mas」at　CLUB JB'S雑誌オーリーのBボーイコーナーが紙面から飛び出して来た。MC BOO,ヘアスタイリックス、ラテンラスカルズ、マジックアレックス、宙PX、コンピュー魔、全裸ROCK

■12/26（日）
「RADIO FLYER ＃3」DO IT 052 FANZINE企画ライヴが1日遅いX'masに行われる。よってなんと入場者全員にDEVICE CHANGEのバッチをプレゼント！出演は、DEVICE CHANGE、CALUSALI、MARTEN'S、SECOND 2 NONE、TOMORROW (HUCK FINN　052-733-8347)



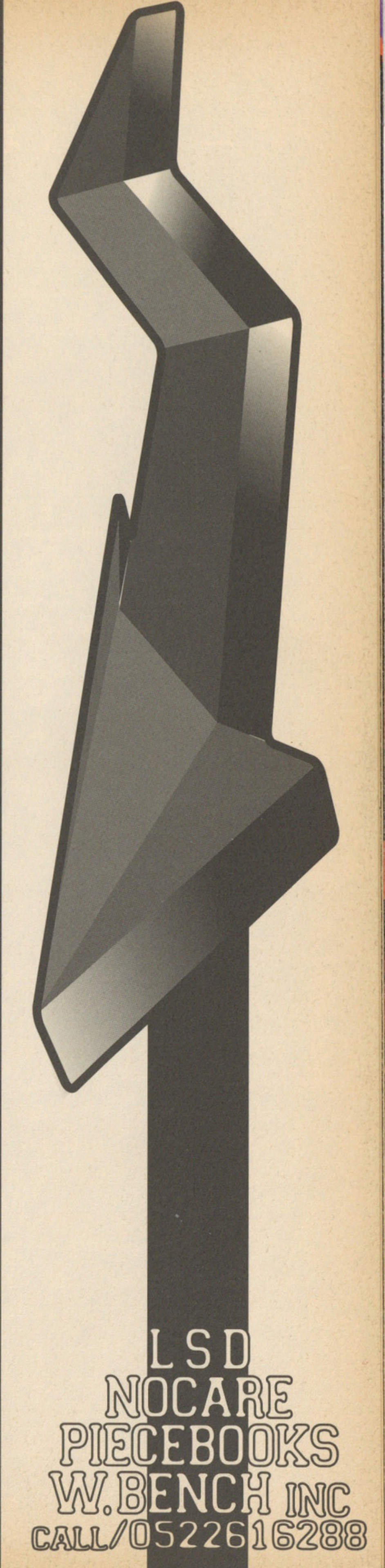
■12/26（日）
「SPEAKOUT&STANDPROUD」at 豊橋LAHAINA　SWING ARM企画イヴェント。出演バンドは、SWING ARM,PROTECT,NO ALLEGIANCE,WALL OF HATE（LAHAINA　0532-33-3766）

■12/28（火）
「WORD OF LIGHT」at G-GROOVE
年末プレゼント付きオールジャンルイベント！DJ BIBI,OHASHI,SUGIOKA,YAMAMOTO

■12/31（金）
「RADIX Presents　COUNT DOWN 2000」RADIXの豪華レギュラー陣が総出演！そしてスペシャルゲストにはナーキが初登場！
RADIX ALLSTARS,Special guest - NAHKI（RADIX　052-332-0073）



■1/15（土）
「B-BOY&SKATERS　DOCUMENT」at CLUB JB'Sスケーターと B-BOYのリンクしたヒップホップイベント！出演は、WORD SWINGAZ,HAZU,ACMESTARR(CAU-JOON&WOONAGY),MUJINA,HAYASSEN,RAP RIDERS,DJ KOHEY　and MO…（CLUB JB'S　052-241-2234）



1人孤独な主人公-光りが嫌い-光の差さない町…　あなたは一体何を想像する？　好評連載のIMAGINE-NOVEL
あなたの落ち着く場所でのんびり読みふけてください！

トレインヤードの町 ～第二話～

真山貴穂

紫の町を歩くのは実に気持ちがいい。光の差していないこの腐った町を征服したような気持ちにさせてくれる。実に気持ちがいい。

オレの部屋はガレージの2階。階段を登る時、ギシギシと音がするようなおんぼろのガレージだ。部屋に入ったら大体３リットルくらいのビールをあける。そうすればぐっすり眠れるからだ。日が差す前に眠らなきゃ…

「ビービービッビッー」

いつもの様にTATTOOマシーンの音で目が覚める。オレの住んでいるガレージの1階はTATTOOスタジオだ。別にTATTOOにそこまで興味がある訳ではないが、オレの両腕には色々と入っている。気に入った絵がある訳でもなく、ただ入れるだけ。TATTOOアーティストにまかせている。そのTATTOOアーティストは白髪まじりのヒゲ面でいかにもバイカーという感じの40代のおやじだ。

「珍しいじゃねえか、まだ日が出てるぜ」

おやじは言った。そうだ、日の差す外へ出るのは何日ぶりだろう…

「その辺のマシーン、消毒しといてくれ！」

「あぁ」

軽く頷いた。オレはこのTATTOOスタジオで軽い雑用の仕事をしている。何度も言うが別にTATTOOがそこまで好きな訳ではないのだが…

なんだか今日は目覚めた時から気分が悪い。久し振りに日射しの強い外へ出たからだろうか、グラフィティーをやっているせいで頭もガンガンする。

「汚ねぇな」

ボソリと呟いた。そろそろいつもの時間だ、腐った町へ出よう。この腐った町の臭いが最高に心地よい。アタックする壁も決めてある。さぁ行こう。やっぱり今日は冴えてない。ピースを書いている時、赤のスプレーが切れやがった。まだ途中だ。

「クソッ、本当に冴えねぇ日だ」

この苛立ちを残したまま、オレはいつもの地下鉄へ向かった。4時22分ちょうどいい時間だ。オレは1人電車が来るのを待っていた。すると目の前に立っていたコートの男が地下鉄のホームから飛び下りやがった。そう、この時間は、自殺志願者も多い。今まで何度も見てきた。

「おぅ、また自殺か！こんな時代、何にも考えねぇで生きているより、自殺しようと決めたヤツの方が、えれーんじゃねぇか…」

いつもの紙コップのオッサンが酒の臭いをプンプンさせながら言った。その通りかもしれない。さみしい時代だ…自殺したコートの男の生首がオレの方を見てやがる。

「クソッ汚ねぇ」またボソリと呟いた。

「キャハハハッ」

「生首！生首！」

「あの生首、目がキラキラしてる」

初めて見るメス猫が生首を見てはしゃいでいる。

「ねー、この地下鉄って楽園行きなんでしょ」

オレは笑った。

「お前も臭いを嗅ぎつけて来たのか？」

「楽園なんて行きゃしねぇ、ここが楽園だ」

メス猫は目に笑をうかべてニコっと笑った。

「チッ、片付ける身にもなってみろ、このろくでなしどもが！ろくに何もできねぇくせしやがって、死ぬ時まで迷惑かけやがる！」

駅員が言った。

「…」

オレは何も言い返すことが出来なかった。オレだけじゃない、他にいる誰一人として何も言い返す言葉は見つからなかった。当然だ…事故のせいで、今日は紫色の町を見ることができなかった。表の町はもう動き出している。光の臭いが鼻をかすめる、吐き気がする。

「どうすればいい…」

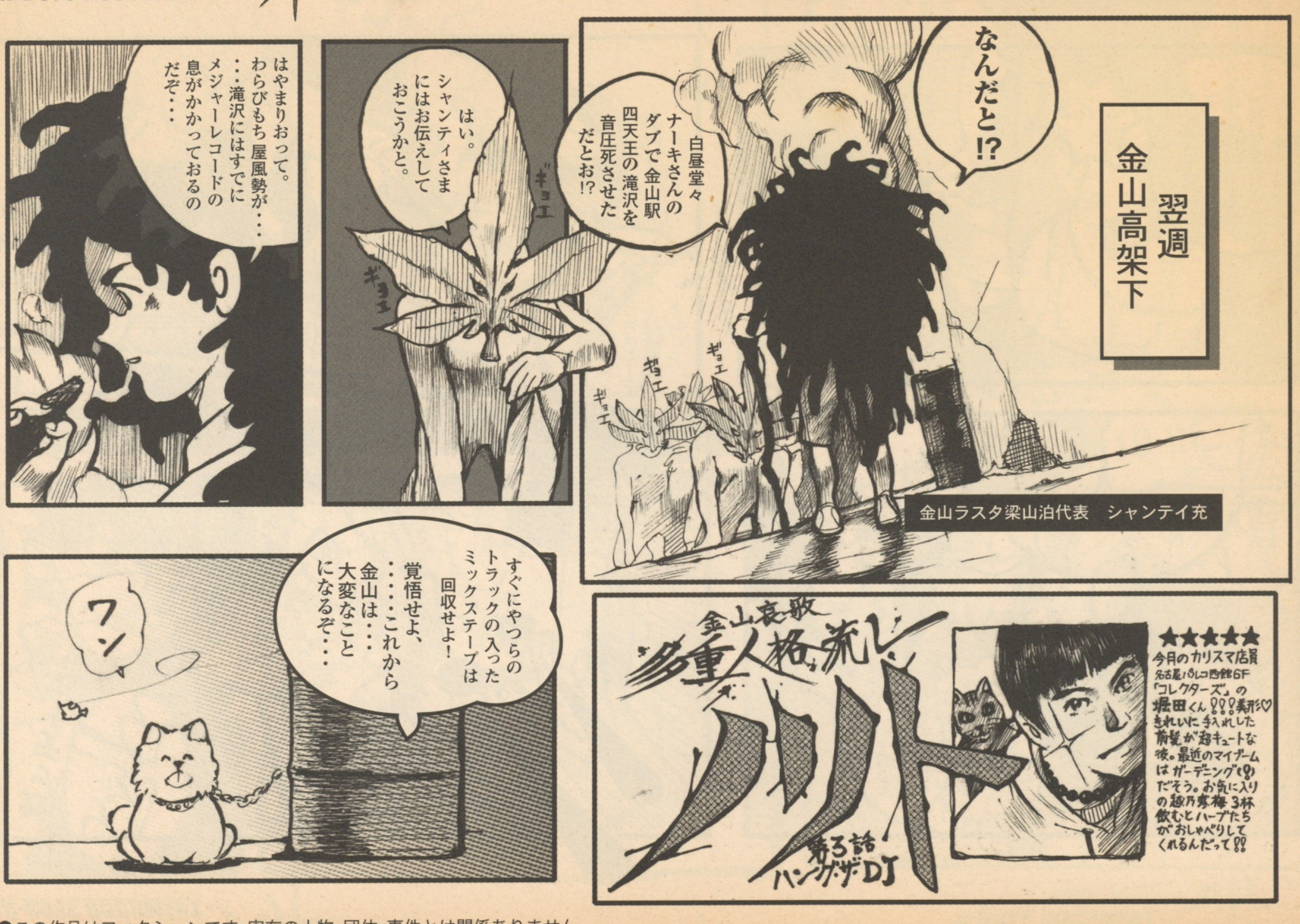
オレは東から昇ってくる巨大な光をじっと睨み付けながらそう噛いた。



無法地帯と化した金山総合駅に謎の集団が・・・

多重人格流し ノリト
N-BOYS DOCUMENT

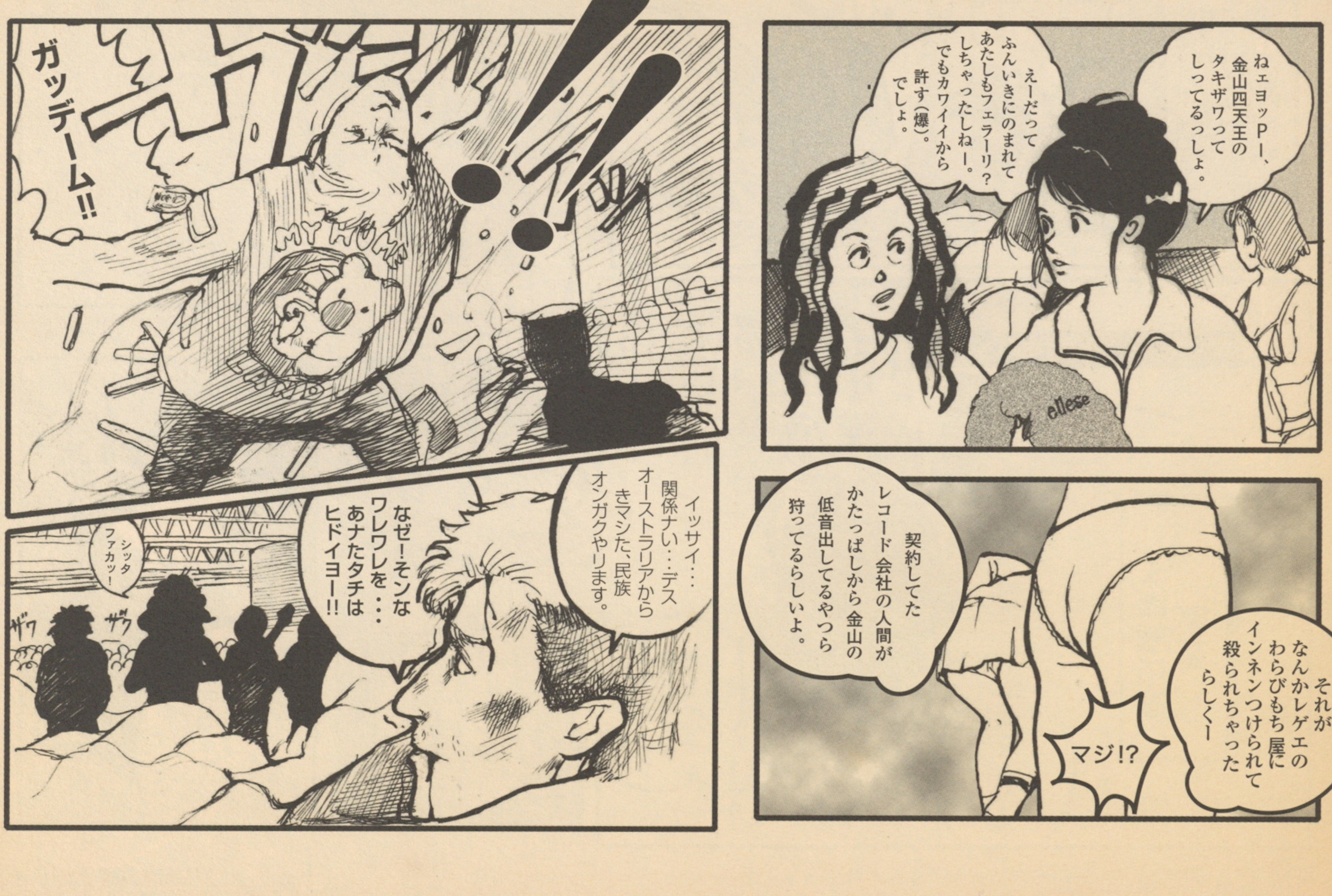
多重人格流しノリト～金山NAGASHI列伝～　第3話「逆襲」



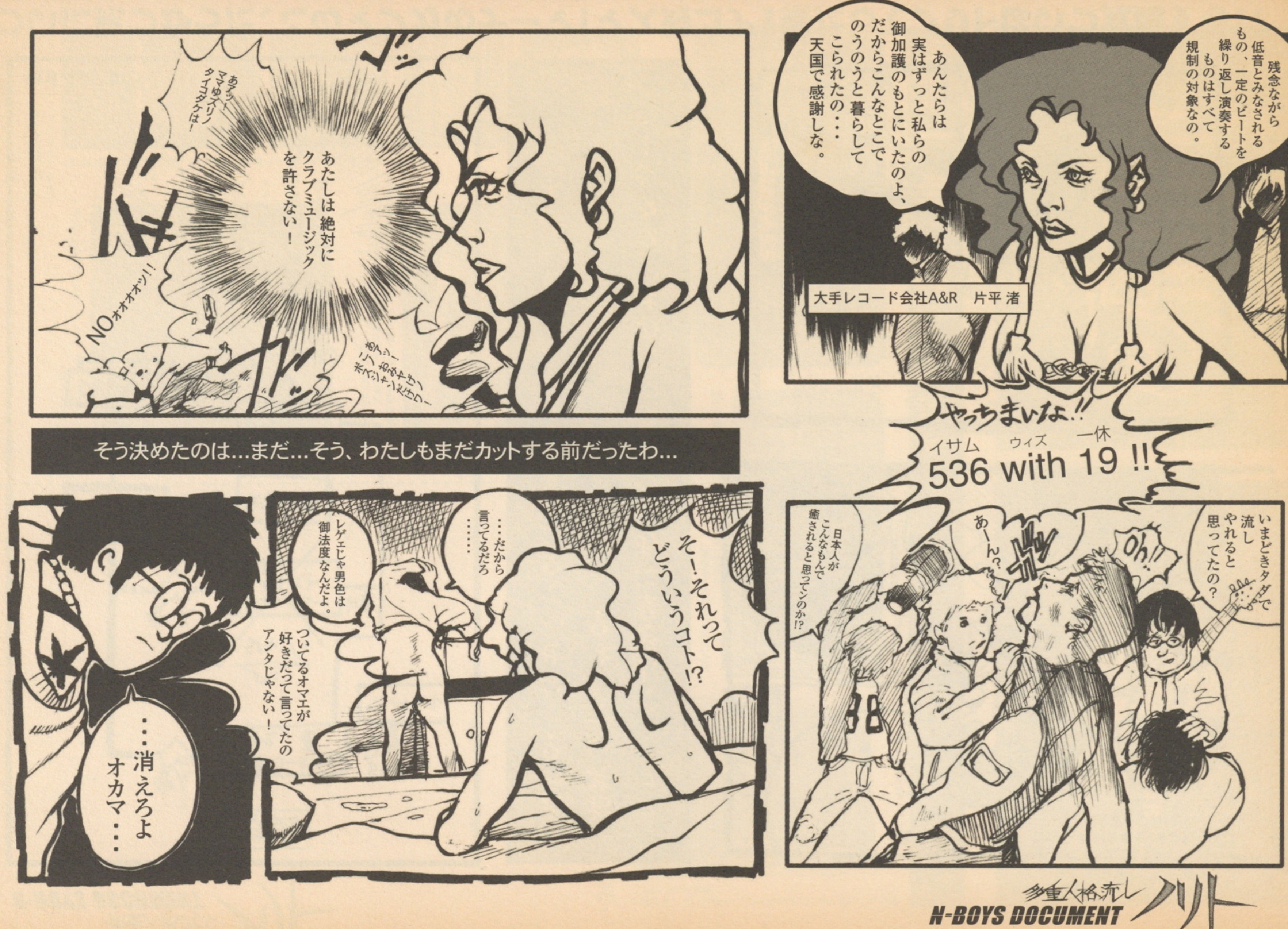
あらすじ　今ガゼン流行中のナ・ガ・シ。毎晩三千人を動員するという金山総合駅で、金山流し四天王と言われる1人、滝沢ウタオが、レゲェのわらびもち屋さんに低音で殺されてしまった！

●この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件とは関係ありません。

おたより
金山駅が出てきたら、なつかしくてナミダが出ちゃった…。罪作りなマンガです。
（瀬戸市市／朝香サン）



この作品に対する感想や、メッセージなどのお便りを大募集していまーす。
宛先は〒462-0047愛知県名古屋市北区金城町3-3-6-105ルーツ編集部「多重人格流しノリト」係まで。



おたより
先生は金山の事しか知らないようですが、ナガシ業界は藤が丘も結構熱いです。（藤が丘／真下このみサン）

多重人格売レ ノリト
N-BOYS DOCUMENT

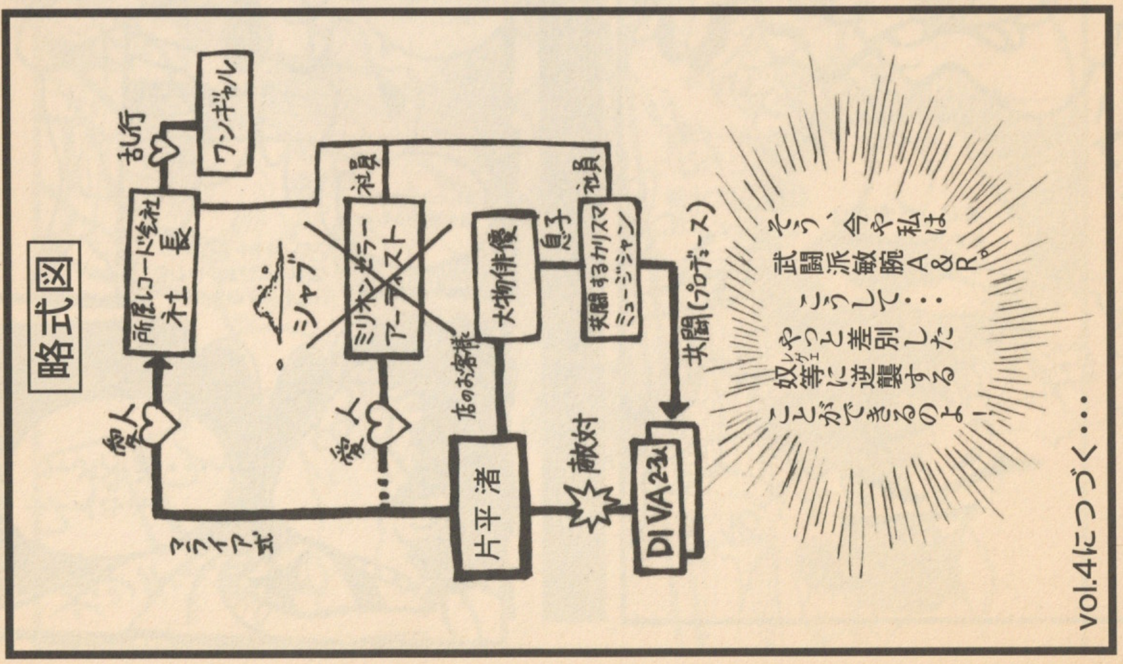
恐るべき音楽業界の暗部をひきずったA&Rマン（ウーマン）渚！ケンちゃんのお店で、大ゲンカしてやめたという！

おたより
金山駅が出てきたら、なつかしくてナミダが出ちゃった・・・。罪作りなマンガです。（瀬戸市／朝香サン）





フフ・・・でも警察にあいつを売ったのは、ワタシ・・・
お笑いでしょ？
えっ？　なぜって？　社長の2号になるためよ。



vol.4につづく・・・

ついに見つかった、このマンガのテーマ！マス対コア！果たしてノリトはいつ覚醒する!?

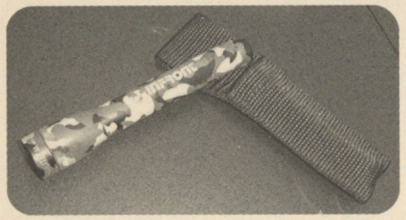




Present from roots 読者プレゼント



①SURPASSのT-シャツを1名様に（提供/AT FIRST）



②レコ屋IN FRONTのマグライトを1名様に（提供/IN FRONT RECORD）



③park LIFEのオリジナルライター3本セット、4名様に（提供/park LIFE）



⑤レコード&CD&ミックステープを各1名ずつに（提供/BOUT RECORDS）

COMODESTAS / Mambo Kuroneko
TALKIN LOUD / V.A SAMPLER
THE BRANDNEW HEAVIES / SATURDAY NITE
BRANDY / U DON'T KNOW ME
DJ YAS / TIGHT 2000



④roots限定スペシャルパック！ALL AROUNDから今までのネックピースの詰め合わせ!!!　2名様に（提供/BEHIND VANITY）



⑥SQUAREのハット、シャツ、トランクスを各1名様に（提供/NOSEDIRT）

ルーツアンケート

★希望商品番号に○をつけてね！

1　2　3　4　5　6

氏名　性別　年齢

〒

住所

TEL

1 rootsにやって欲しい企画

2 よく行くスポットは？

3 好きなブランド

4 好きな音楽　ジャンル：　アーティスト：

フリースペース

★官製ハガキにこのアンケート用紙を張り付けてroots編集部まで送って下さい！→
〒462-0047愛知県名古屋市北区金城町3-3-6-105　roots「Vol.01プレゼント」係まで。当選者は次号発表します！すべての締め切りが2000,1/20当日消印有効。

OH～！ミソニコミオンナ！

Unhh!!!

世界は女で回っている！

好評のフリースタイルパロディコーナー！
女は部屋付き（1人暮らし）ボイン！Tバック！



--始発の東山線--

あらゆる悩みに効く30秒チャージ犬



●このコーナーに読者からのお便りが届いたため、今後から勝手に変更しして、裁犬（さばけん）先生が全力で悩みに答えてくれる！（北方謙三先生には負けるけどね）必ず答えがココにはある！

★初めまして、rootsを見て僕の中で一番好きな雑誌になりました。他ではない情報だと思います。そこで相談ですが、僕の好きな子が最近CLUBに行ってるんです。僕も行こうと思ってるんだけど、周りの友達は一緒に行ってくれないし、夜遊ぶと親に怒られそうだし、かと言って1人じゃぁCLUBは分からないから行けないし、でもどうしても行ってみたいし、なんかいい方法があったら教えて下さい！（佐賀県　R・S 17歳）

裁犬-好きになったのは嬉しい。しかしおまえはいつも人まかせ人間のようだ。周りが何とかしてくれると思っているのであれば、それは甘い。自分のことはテメエで考えろ！だけどそれじゃぁ、コーナーにならないので答えてやろう!まず、CLUBに知っている人がいないと不安なのは分かるが、1人で行ってはいけないというきまりはない。友達が一緒に行ってくれないのなら、1人でCLUBに行け。勇気を持って行けば、きっと新たな友達ができるだろう。そう思い知らない人に接っする事でおまえの経験値が上がるのだ！根性試しだ。びびっていたら、自分の欲望は満たされるわけがないだろう。おまえくらいの年齢なら、何も恐れることはない。まだ何を失敗しても許される年齢だ。大いに失敗しろ！すぐにその彼女に告白しろ！ふられることを恐れるな。人間に完璧はない。もしふられた時はそのクラブとやらで女を探せばいい。自分の経験値を上げた時こそ、女はおまえに振り向くだろう。親もそうだ。親には思いっきり怒られろ！思いっきりおこられない限り、おまえはいつまで経っても夜遊ぶことなくそういう気持ちさえ押し消されることになるだろう。もしも、ここまで言ってもおまえの状況が変わらないのであれば、自宅でルミカライトでも振っていろ。周りと同じ動き

本気なら本気で答える、ひやかし結構、どんどんかかってこい！メールでもOKだぞ！
宛先はroots編集部「裁犬へ」係だ。メールアドレス　roots-mz@muf.biglobe.ne.jp
（採用者には裁犬氏の直筆の語句を進呈いたします）



変態シーン50絶頂
八
'99総決算版

ドラゴンズ！どらぁ惜しくもソン引退!!「おつかれさま！」

隔月実話

切りとら線

賛否両論 どっちでもええがゃ！

驚 ナゴヤドームで大パラパラルミカでナイト祭!!

アルカリ電池!?

SCARのメンバー ネギ「ど～なっとるの？」解散ライヴに間に合わず！残念

本誌のマンガ家"亀屋丸八"先生発見！夜のCLUBで「ポー！ポー！」/追跡

2000年問題!!

★2000問題なんて恐くない！かかってこい！
★正解解答が全米でバカ売れ！おしえて～！
★うかれてんじゃぁねーよ！頼むぞ人類

噂の真相「ここがヘンだがや名古屋人！」
裏側スベテみせます。やらせじゃないよ！

被害者が語る 衝撃

内海・常滑の襲撃レイプ犯！カップル要注意
告白　ナンバーにガムテープ車は激チェック！危ない

列島ワイド/狂気の警察不祥事！
誰が正義の味方なの？
正しいギフ弁講座

全国10連発！

デンジャラスシティと呼ばないで！リアル・ストリート取材
入れちゃだめよ♥「ヘルスはまかせてNO.1シティ！」マップ付

座禅占い：おまじない"ナヤゴビレテ？"

30円アタリ付



厚底戦争！

激白！厚底ブーツの事故死を食い止めろ！ドロ沼修行僧
大手社長元恋人も激怒！「高いのにも程がある！」

よくある風景

暑くもなく寒くもないある昼下がりボブ：先輩！お久しぶりっス！
淳二：バタンッ！おうっボブ！どうだこのスカイライン、そこの角で拾ったんだわ。ピカピカで嬉しいわコレ。
ボブ：…ラッキーですね。僕なんか自動車工場リストラになっちゃって…。マジムカツクから持ってた女ネタをリストラしてやりました。
淳二：おまえなぁ、ナゴヤのノックって呼ぶぞ！エロダコ！
ボブ：痴漢セクハラじゃないッス！。なんか仕事でも紹介してくださいよ～
淳二：ライフスペース！
ボブ：仕事じゃないっス
淳二：ガタンッ！ほらみろ、間違えてホットコーヒー出てきてまっただろう！なんだて～メチャメチャ熱くて持てんなぁコレ…
ボブ：この時期、間違えやすいんですよねぇ。おまけにホットが売れるの少ないからかなり保温が効いて熱くなってたり…。
淳二：なんかついてないなぁ
ボブ：そういえば、先輩ってまるくなりましたねぇ
淳二：アホか！見かけでそんな言葉吐くな、クソガキ！お受験の"お"はお遊びの"お"なんだぞ！



ACKEE&SALTFISH / HEAT UP TOUR '99 FINAL in Diamond Hall / 10.2.1999

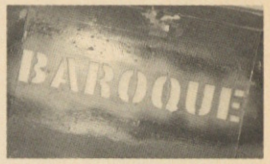
Brand Seminar デザイナーのチョットよい話

ALLAROUND

ALLAROUND代表 / 山下哲司（25歳）

STARTは、1994年の2月ぐらいで、はじめは手作り物がメインでした。1996年位から某SHOPで働きながら本格的に工場生産になりました。1998年に独立して今に至ります。最近ではなるべくプリント物を控えて、洋服そのもののデザインや細部、素材にこだわるようにして、色々な人が着れる洋服を作ろうと日々精進している次第です。コンセプトは毎シーズンちがって、今シーズンの秋冬は『BAROQUE』です。そのままの直訳ではなく、古き良きものは2年後、10年後でも良いという意味で、2年後、10年後でも着れるような洋服というのが今シーズンのコンセプト『BAROQUE』です。今シーズンでモノトーンが多い理由は、うちの洋服はサイズが大きいのでとてもカジュアルに見えるのですが、モノトーンだと少し大人な感じになるし、他に無いかなと思ったからです。最近は『系』に括られないと反応しない人が増えてますが、今後どうなっていくんですかねー？もうそろそろ『個性』というものについて考えなければいけない時期なんじゃないでしょうか。

『安心』が金で買える今の世の中ってバカげてると僕は思います。少し（？）毒を吐きましたが、最後に、ALLAROUNDの今後のリリース予定は、ダウンジャケット、フリースジャケット、オリジナルボディーを使用した、スウエットやパーカー、年末年始には、ブランドとのコラボレートものなどリリース予定です。これからも、マイペースで頑張りますので、宜しくお願いします。





山下哲司（25歳）ALLAROUND代表
三重県桑名市生まれ　魚座AB型
高校卒業後、名古屋M学園夜間部入学、ここで学ぶことが無くなった為、2年で中退。

HEAD SHOP ● BEHIND VANITY / 052-261-0373

PHIGGio

デザイナー / ダイジロウ



人知れぬ暗闇の中で産声を上げたのは1998年の頃。人は太古以来、空を見上げ、飛ぶ鳥を見て空に憧れたが、我々は地上に思いを寄せつつ、地下(Underground)を拠点に生活を築いている。組織団体「PHIGGio」（フィッヂオ）地下は暗く汚らしい、ホコリまみれの「巣」（ネスト）そんなものさみしい世界に提案するSTYLE。暗ければ明るい色を使い、汚らしければそれに対応できるタフな素材を使う。ホコリが多ければ、その中でも暮らせる物を形にする。不滅の掟（コンセプト）❶過去に学び❷現在を切り抜け❸未来に生きる。これを貫き男達は作り続けていくのだ。「黒」の中に「赤」、「赤」の中に「黄」の旗（トレードマーク）。「黒」は地下を示し「赤」は、力を示す。そして「黄」の矢印は、上と下をつなぐかけ橋である。見下してもしょうがない、見上げればキリがない。ただ思いのままに造り続けるのだ。そして「タマラン」と言わせるのだ。ただ…ただそれだけの為に…。



取り扱い店 ● BIRDOG / 0564-23-0276 ● NOSEDIRT / 052-252-5239 ● AT FIRST / 0532-52-8801 ● GUAVA / 093-533-4173

Awake culture

movie ラスベガスをやっつけろ

日本での知名度は低いが、アメリカにはハンター・S・トンプソンという有名なジャーナリストがいるらしい。'66年に発表された彼の処女作「ヘルズ・エンジェルス」は、荒々しい傑作として数々の賞を受賞し、'71年の怪作ノンフィクション「ラスベガスをやっつけろ」はベストセラーになった。60年代後半から70年代のヒッピー全盛期に、自分はもちろん、文明や社会を徹底的に罵りまくった荒々しい文体と毒舌、そして本人の真摯なハチャメチャぶりが圧倒的な支持を受けた“アメリカ真正のアウトロー・ジャーナリスト”だ。

さて、前置きが長くなったけど、そんな彼の怪作「ラスベガス…」を原作にしたこの映画では、取材旅行でベガスに乗り込んだジャーナリストとその弁護士のドンチャン騒ぎとドラッグ三昧のハチャメチャな姿が描かれている。仕事もそっちのけで暴れ放題やり放題、主人公のブッとんだジャンキーぶりはかなり爽快。扮するジョニー・デップのトボケた演技も絶妙だ。ドラッグでブッとんだ主人公が見るシュールな幻覚映像も、『トレイン・スポッティング』に負けないおもしろさ。でも、こんなとんでもない奴がいる（今もまだ健在）ってことがイチバンすごい。

尾鍋　絵里子



監督■テリー・ギリアム
原作■ハンター・S・トンプソン
出演■ジョニー・デップ／ベニチオ・デル・トロ／トビー・マグワイヤ
●1月上旬〜●シネプラザ4

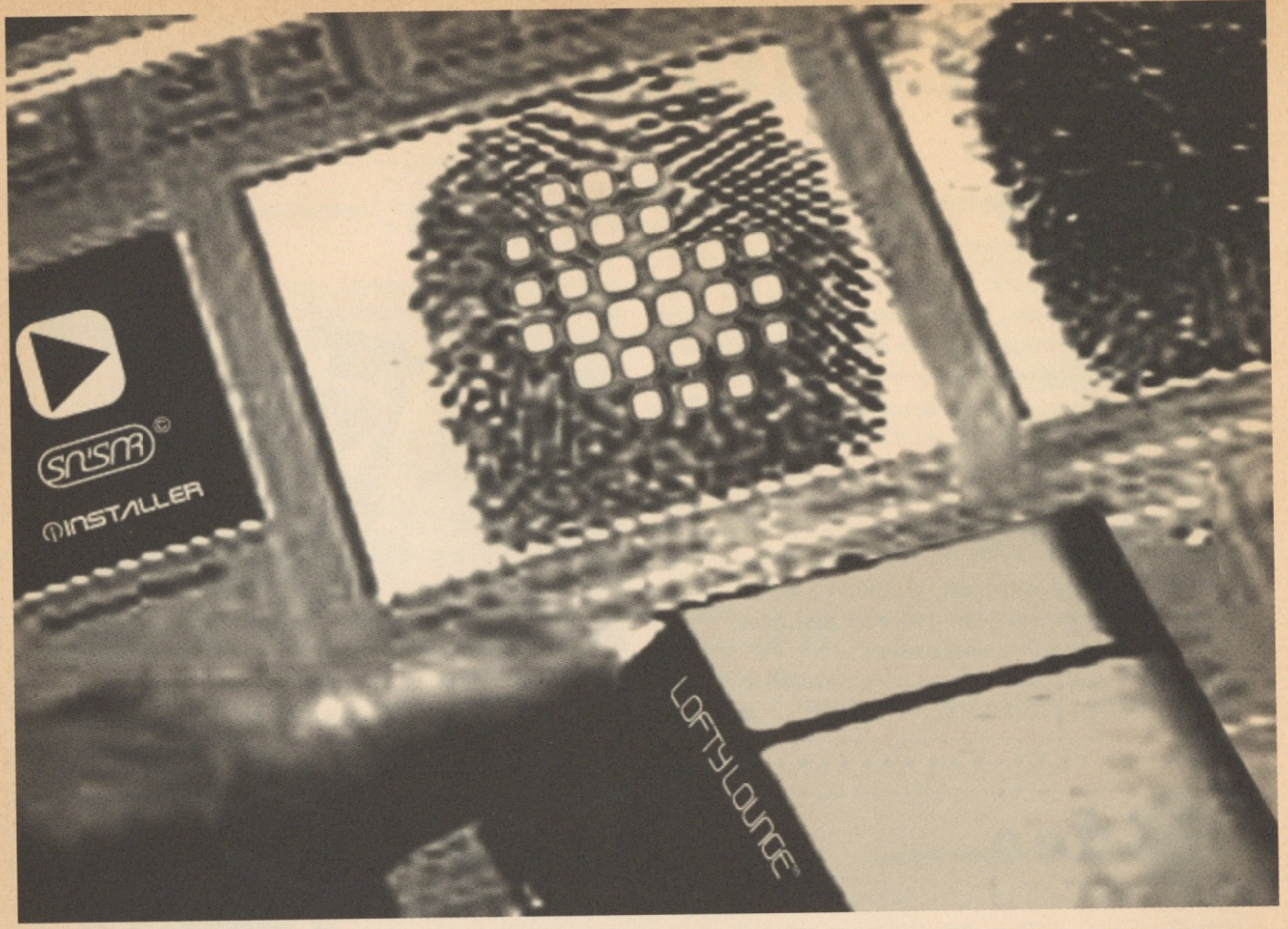
Video ゴトウシIII

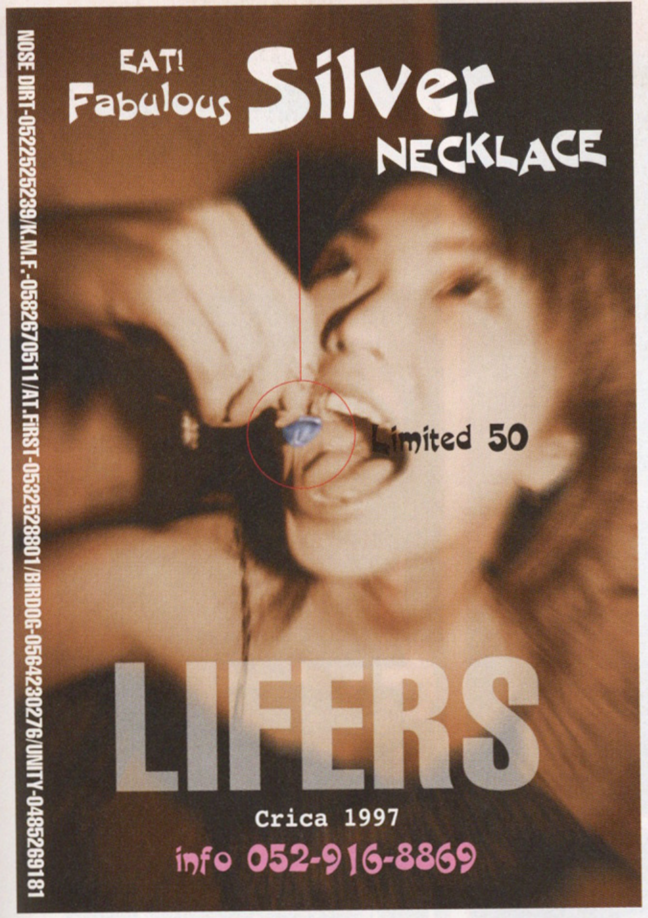
デジタルロボ編

異彩を放つ強引さを配合。これぞインディームービー！

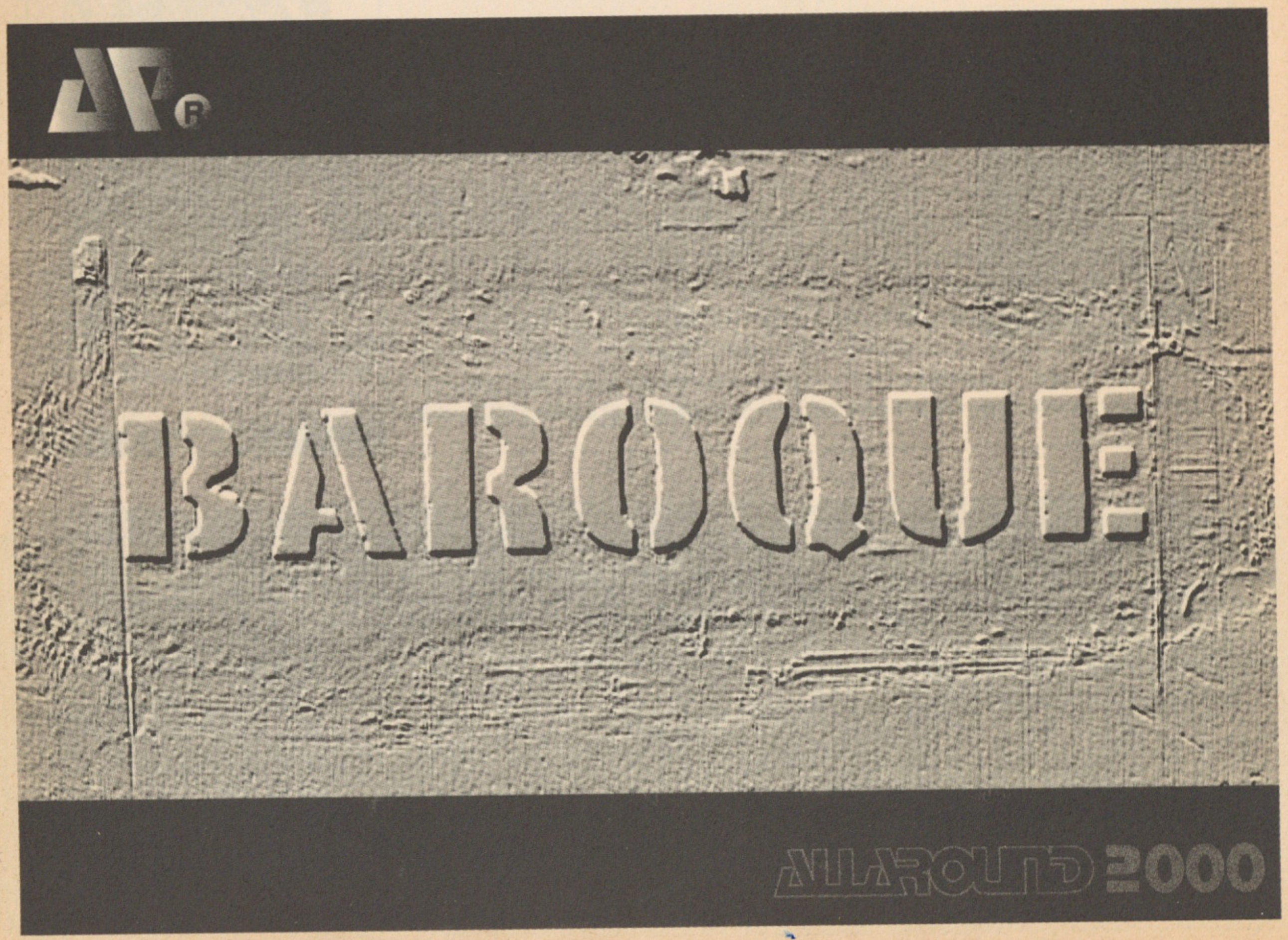
ゴトウシ（呉闘士）参」ということで、今や幻となったゴトウシ（呉闘士）壱、弐に続いて驚異のシリーズ第3作目！監督はレオナルド　アトプリオ。舞台は広島、呉の街を中心に繰り広げられるノンフィクション・デジタル・アクションムービー。街の乱された平和を取りもどすために悪党に主人公が立ち向かう！という一応の流れのストーリーだが全貌は未だ謎で不明。手作りダンボールアーマーを装備したデジタルロボ達がなんとも光っている。過剰な演技に細かなギャグ演技、最後まで中途半端なテンションで続くという、とっくにB級映画を越えている辺り、モロつかみ所がなくてハマります！映画のロマンすら感じてしまうのは僕だけでしょうか？（当初、このビデオテープをアンドロアツヤから手渡され、鑑賞した時は正直言って戸惑ったが）そういえば、コレを観ていてダウンタウンの「犬マン」を連想してしまった…その辺の笑いが好みならオススメします。

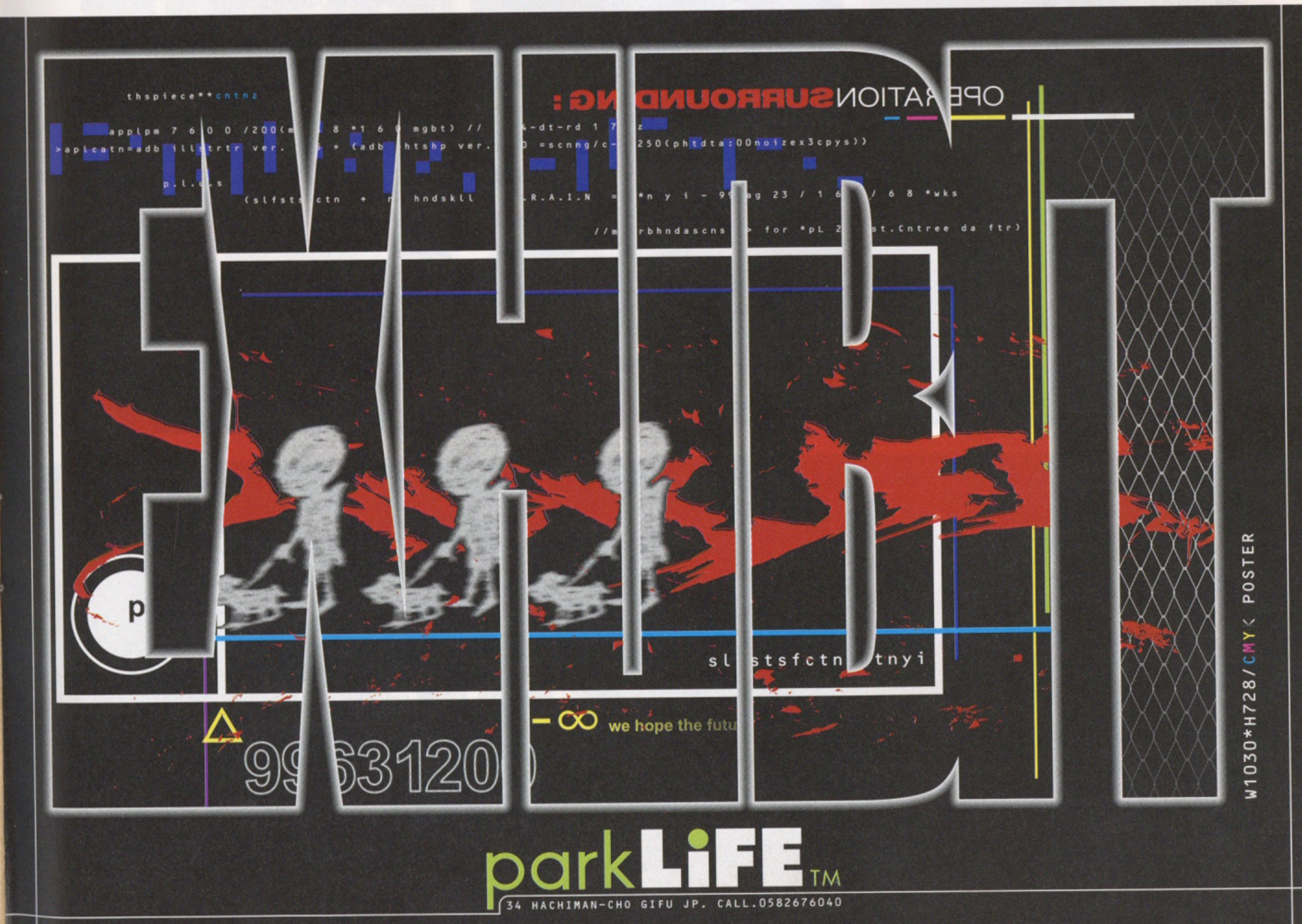



sn'snr ©
INSTALLER
LOFTY LOUNGE


NOSE DIRT-0522525239/K.M.F.-0582670511/AT.FIRST-0532528801/BIRDOG-0564230276/UNITY-0485269181
EAT!
Fabulous Silver
NECKLACE
Limited 50
LIFERS
Crica 1997
info 052-916-8869


@ C&T : 052-262-1711


BAROQUE
ALLAROUND 2000

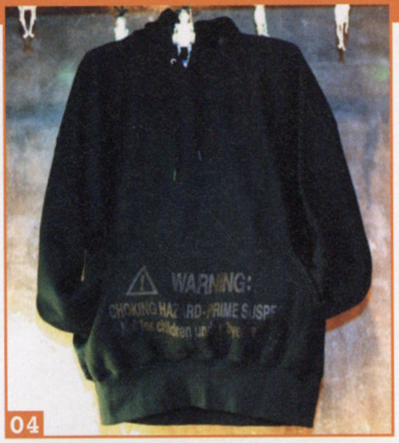

OPERATION SURROUNDING :
EXHIBIT
99631200
we hope the futu
parkLiFE TM
34 HACHIMAN-CHO GIFU JP. CALL.0582676040
W1030*H728/CMYK POSTER


01


02

01.LEXONのラバーラジオ
¥7,000 (Park LIFE 058-267-6040)
02.NO CAREのニットキャップ
¥3,800 (NO CARE 052-261-6288)
03.CHAMACOのテレスコープデッキ
￥1,4000 (Park LIFE 058-267-6040)
04.PRIME SUSPECTのスエットパーカー
¥16,800 (COMEDY&TRAGEDY 052-262-1711)
05.SQUAREの6Pデニムカーゴパンツ
価格未定 (NOSEDIRT052-252-5239)
06.COMME des GARCONSのクリスマスピローTシャツ
￥19800 (ACT NATURALLY 052-243-7478)
07.PROVIDEのキャップはバリエーション豊富
￥5200 (BONNEVILLE0532-52-1068)


03



04


05


06


07

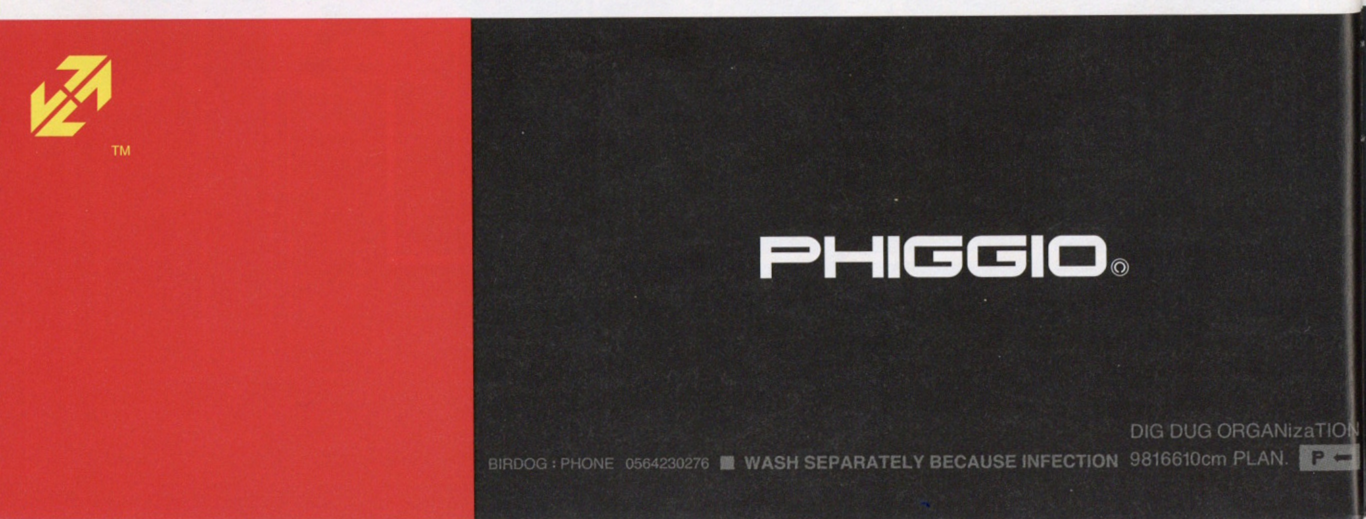

08


09


10

08.INSTALLERの多目的ナイフ&ライトMULTIPURPOSE TOOL
¥5,000 (LOFTY LOUNGE 052-242-5935)
09.ALL AROUNDのワークシャツ、ステッチに注目
¥16,800 (BEHINDVANITY 052-261-0373)
10.T-19のストラップホルダー&ストラップ
¥1900 (PEDESTRIAN 052-264-0168)
11.FIXのブラウスはハンドメイド
¥13,000 (Cinnamon 052-242-6512)


11




12



13


14



15


16


17

12.GAPのナイロンポーチ
¥6,800 (BIRDOG 0564-23-0276)
13.SEDUCERのT-シャツ
¥4,800 (Number 3 0532-52-7296)
14.PHOTOTRON-史上最高の水耕栽培キットが日本上陸
¥130,000 (LUV-LIME 052-872-1333)
15.SQUAREのスウエットは白/黒/ブルーグレーの3色展開
価格未定 (NOSEDIRT052-252-5239)
16.CLOSIC からカモ柄のフリースベスト
¥8,800 (EAST OF BRIDGE 052-251-5661)


18

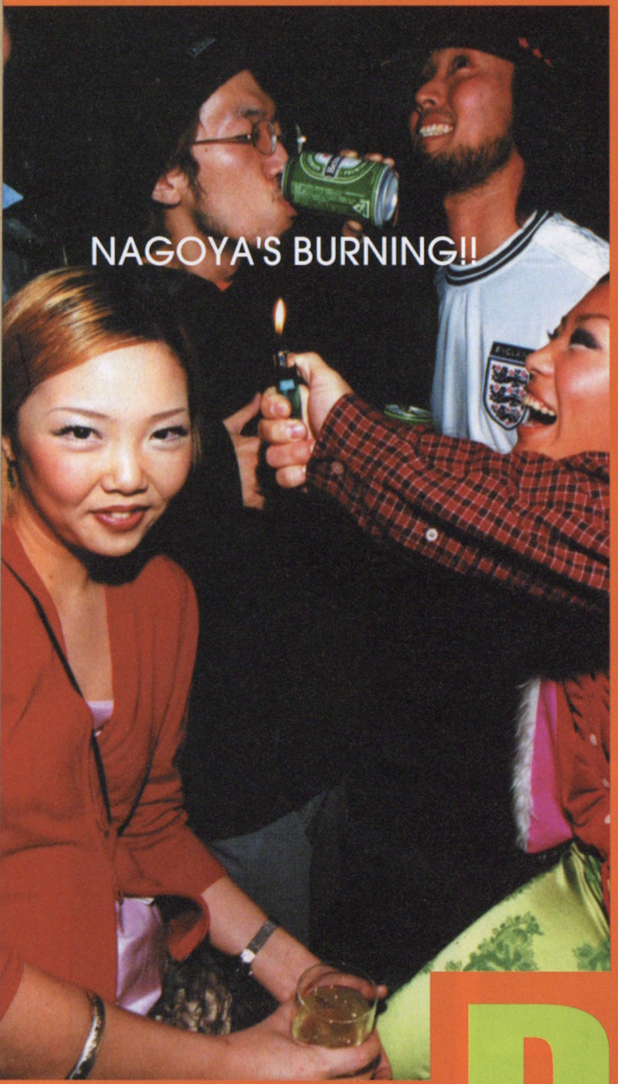

19


20

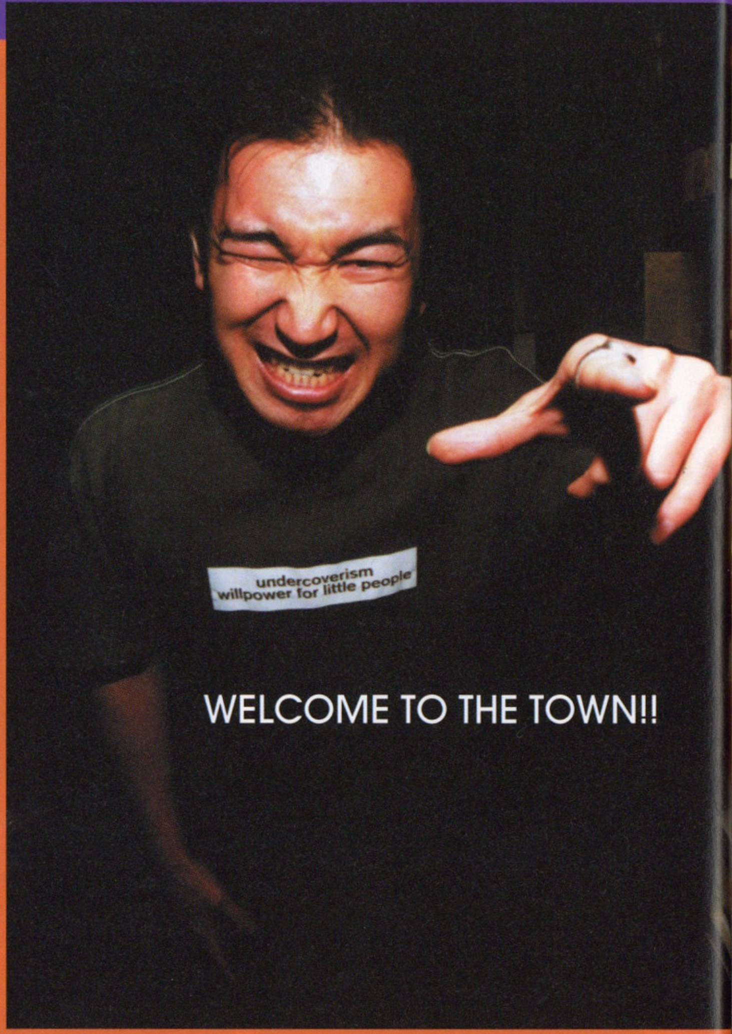

21

17.ALL AROUNDのCAP
¥5,800 (BEHINDVANITY 052-261-0373)
18.SURPASSのチェックシャツ
¥13,800 (AT FIRST 0532-52-8801)
19.PIECE BOOKSのウインドブレーカー、バックにタギング
￥10,800 (NO CARE052-261-6288)
20.OH!THE GUILTのVネックセーター 胸にワンポイント
価格未定 (FRONT by T.F.L 052-971-2262)
21.HERCULESヴィンテージのカバーオール
¥49,800 (R'S STORE052-265-1620)





NAGOYA'S BURNING!!



WELCOME TO THE TOWN!!



GET HIGH!!!

PAINT IT BLACK!

“ステキナセカイヘヨウコソ

ルーツ独自の視点で覗くスナップ「PAINT IT BLACK」黒く塗りつぶせ！言葉の解釈は自由。アンダーグラウンドな人達の熱いヴァイブを集めたオムニバス。

好きな時間に好きな場所で好きなように楽しむのは基本。いかに自然に自分なりに遊び、ラフに楽しんでいるか？が基準。そんな人々を集めてみました。みんなそれぞれに雰囲気が漂っていていい感じ。あえて説明はいらないよね。合い言葉は「よう！元気？」”





GOOD VIBES FLOWING ALL ROUND!!

...SNAP SHOT-002 roots mix >>

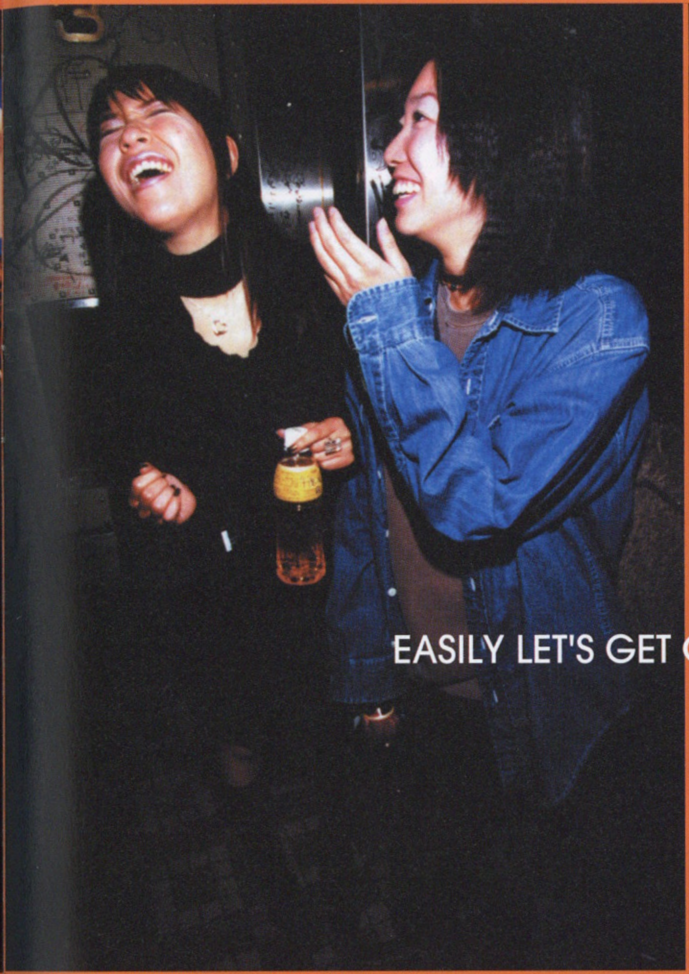
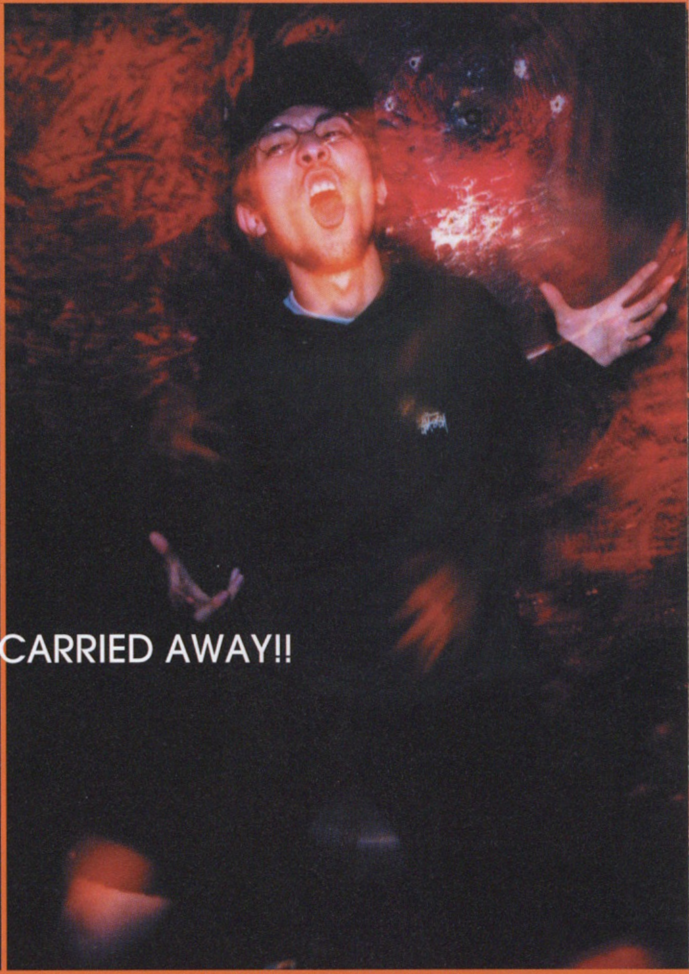


FLIP OF THE DIME!!

SEXEEEEE!!




NOT A WORRY IN MIND AS THE FRIENDS!!

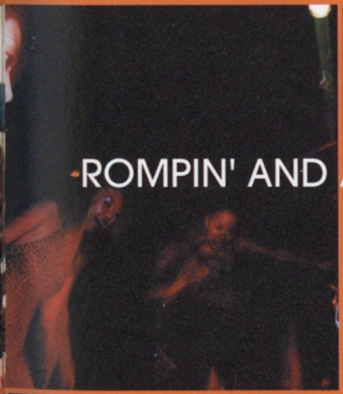
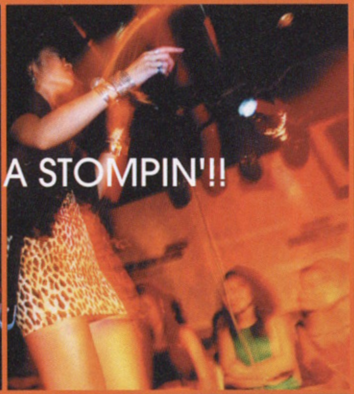
EASILY LET'S GET CARRIED AWAY!!

FREE YOUR MIND IT'S TIME FOR GOOD TIME・LIVELY UP SELF...




SEXEEEEE...?



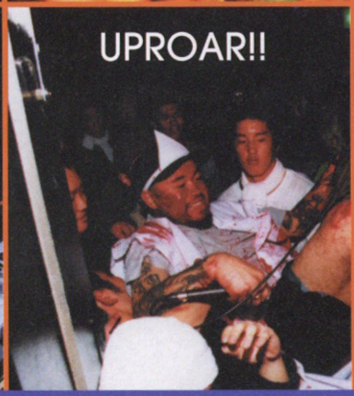



ROMPIN' AND A STOMPIN'!!

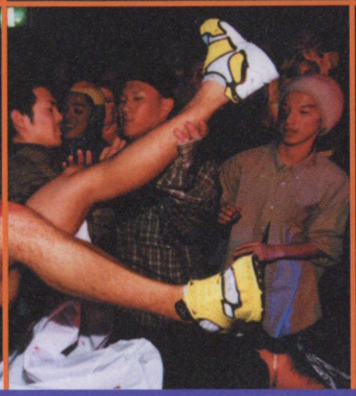





BRAT!

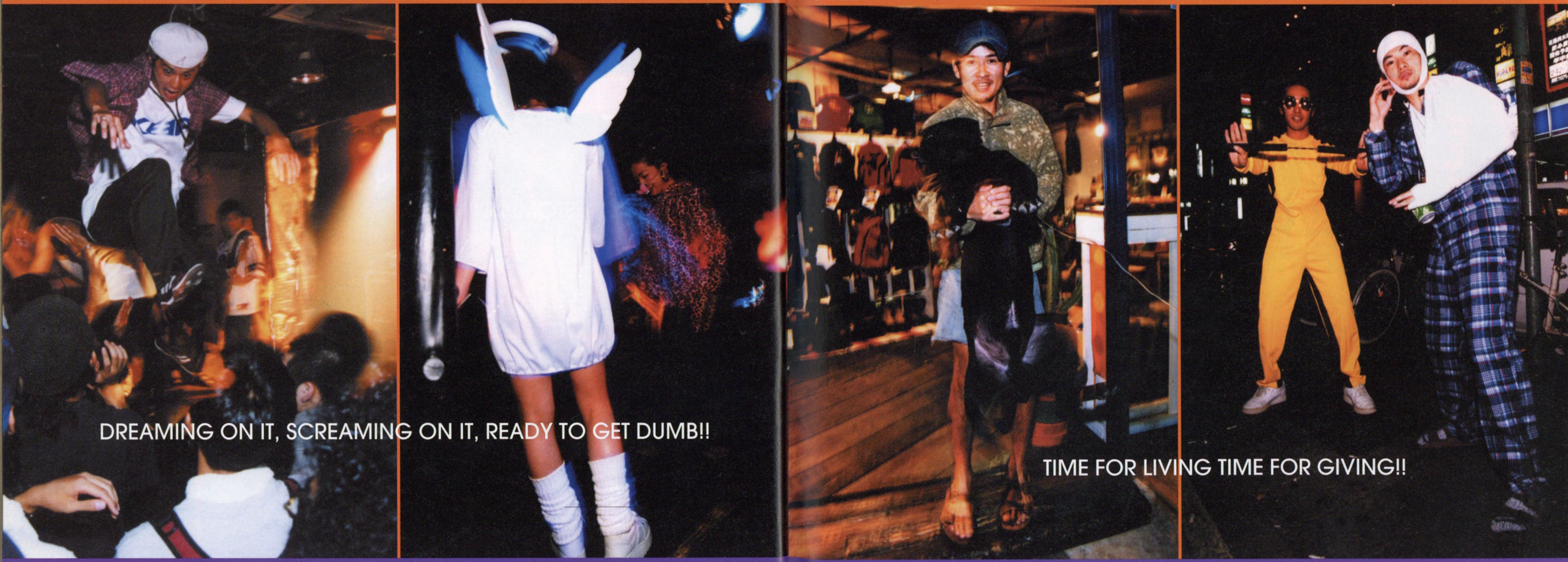



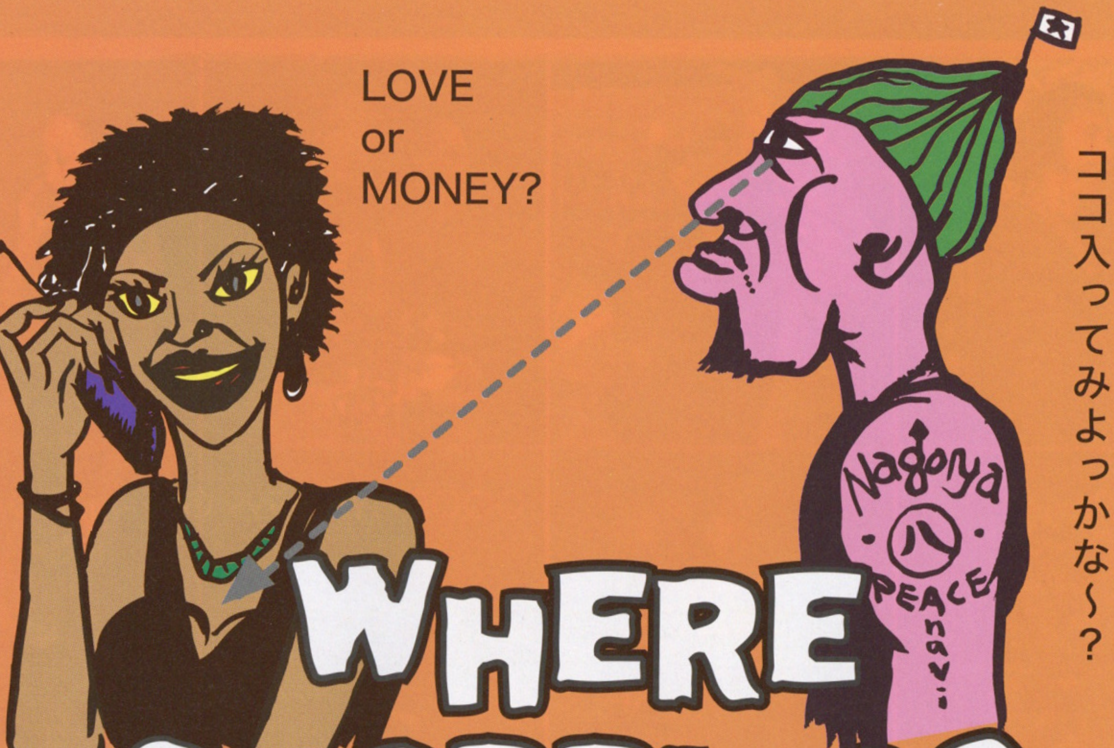
UPROAR!!





WE GOT THE MUSIC CUTTIN' THOUGH ME TALKIN CONTROL OF MY SOUL!!





WHERE SHOPPING?

PARK LIFE

――いつもの店内の雰囲気は？
「こんな物に囲まれて生活してーなちくしょー的なジェラシー渦巻く店内!!」（笑）
――よくかかるBGMは？
「オールジャンルかな、映画を音出してかけてます」
――スタッフ内でのブームは？
「貯金!?」(笑)
――お店のある場所を自分流に説明してください
「感じるお店」（わお～）
――今シーズンの一押し商品は？
「スペースラボのブレスレット！（￥120000）」
――このお店のコンセプトは？
「"オーガナイズをしようとしない事!!"ここで何かを感じてもらって、そしていろんなアンチが生まれて、新しいムーブメントが生まれていくような…」
――年末年始の予定は？
「映画撮りたいなぁ～」





2→KUN

岐阜市八幡町34番地
CALL 058-267-6040
OPEN:12時～20時

主な取り扱いブランド
diff /gr/Complete Finesse/Message/OTG/snail's snore

最近の売れ筋ランキング
1. ロウダウン グラフィック　エンジニアリング（写真集）　￥5800
2. レッツ ゲット ロスト（VIDEO）￥3398
3. roots-mgazine　￥300

ACT NATURALLY

――いつもの店内の雰囲気は？
「誰もがくつろげる!?感じです」
――よくかかるBGMは？
「黒いの」（笑）
――スタッフ内でのブームは？
「夜調査!?」(笑)
――お店のある場所を自分流に説明してください
「東京デザイナー学院の近く」
――今シーズンの一押し商品は？
「ヴィヴィアンウエストウッドのセーター！￥57800になります」
――このお店のコンセプトは？
「自分勝手！」
――年末年始の予定は？
「みんなで初詣で！」





お兄ちゃん

名古屋市中区栄四丁目16-21三恵ビル27F
CALL 052-243-7478
OPEN:12時～20時

主な取り扱いブランド
コム・デ・ギャルソン、バナナリパブリック、APC、カーハート、ラルフローレンなど

最近の売れ筋ランキング
1. CARHARTTのスウエット　￥21800
2. BANANA REPUBLICのBDシャツ　￥10800
3. COMME des GARCONSのシャツ　￥24800

CINNAMON

――いつもの店内の雰囲気は？
「静かな感じです」
――よくかかるBGMは？
「CLEMENTINE」
――スタッフ内でのブームは？
「マックのハッピーセット!!」(笑)
――お店のある場所を自分流に説明してください
「パルコの東館の北隣」
――今シーズンの一押し商品は？
「fixのコート、未定なんですけど￥48000位の予定です」
――このお店のコンセプトは？
「カジュアルとロマンティックのミックススタイル！」





瀬川麻衣子さん

名古屋市中区栄3-31-8
モリダイヤハイツ301
CALL 052-242-6512
OPEN:13時～20時

主な取り扱いブランド
fix(オリジナルブランド)、The pink salon　etc

最近の売れ筋ランキング
1. The pink salon のブーツ　￥37000
2. The pink salon の手編みニット　￥20000～23000
3. fixのラインストーン付スウエット　￥8500

BOUT RECORDS

――いつもの店内の雰囲気は？
「アブストラクト！」
――よくかかるBGMは？
「ソウルフルな音楽が全般です」
――スタッフ内でのブームは？
「レコ祭かな!?」(笑)
――お店のある場所を自分流に説明してください
「春日井の中心部！」
――今シーズンの一押し商品は？
「TEK 9のSIMPLY(LP)ですね」
――このお店のコンセプトは？
「良い音楽をより多くの人に広める！かな!?」
――年末年始の予定は？
「年内は休みナシです！クリスマスを最適に過ごすためのBGMをセレクトし推薦します！あと、ラッピングカウンターも設けます！」





Pooh

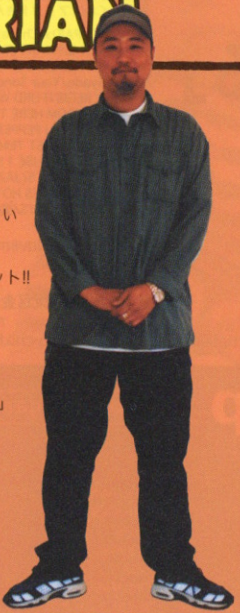
春日井市若草通4-105
CALL 0568-87-6661
OPEN:12時～0時

主な取り扱いブランド
LP/12inch/CD/TAPE/MAGAZINE/（HIP HOP,R&B,FUTURE JAZZ等クラブミュージック）

最近の売れ筋ランキング
1. OL'DIRTY BASTARD/GOT YOUR MONEY（12inch）
2. NEW FRESH FOR OLD/Equibrium（LP）
3. DR.DRE/THE CHRONIC 2001(CD)

PEDESTRIAN

――いつもの店内の雰囲気は？
「"出窓でRELAXX"でございます」
――よくかかるBGMは？
「"BIYATCH系RAP,R&B"でございます」
――スタッフ内でのブームは？
「"UFOキャッチャー"でございます」
――お店のある場所を自分流に説明してください
「"矢場町PINK HOUSE前"でございます」
――今シーズンの一押し商品は？
「GENERIC COSTUMEのウールジャケット!!￥38000でございます」
――このお店のコンセプトは？
「"おしゃれは足元から"でございます」
――年末年始の予定は？
「"年始3日より店開けます。3日はワインでおもてなし"でございます」





KAKIGAWAさん

名古屋市中区栄5-19-25ハイツ栄2F
CALL 052-264-0168
OPEN:12時～20時

主な取り扱いブランド
ROOKIE NYC、GENERIC COSTUME、T-19、MESSENGER、UGP、IMANI LANIER、NIKE SNEAKERS

最近の売れ筋ランキング
1. ROOKIEのZIPパーカー　￥12800
2. NIKEのスニーカー　各種
3. T-19のネックホルダー ￥1900

IN FRONT RECORD

――いつもの店内の雰囲気は？
「オシャレなレコード屋さん、俺が求めていた店！」
――よくかかるBGMは？
「HARD CORE ,HIPHOP」
――スタッフ内でのブームは？
「とくにないです」
――お店のある場所を自分流に説明してください
「パルコのウキウキ通り」
――今シーズンの一押し商品は？
「IN FRONT RECORD×マグライト社Wネームのマグライトですね。￥4800です」
――このお店のコンセプトは？
「いろんなBANDがいるなかで厳選して入荷させている。なんでも仕入れればいいってもんじゃない。お客さんが混乱しちゃう。とにかく見やすく置いてある。素敵なお店などなどです」
――年末年始の予定は？
「12月19日でIN FRONT誕生1周年（べつに何かやるとかは決まってません）」





マークン

名古屋市中区栄3-31-25-2F（パルコ横）
CALL 052-252-5395
OPEN:13時～20時

主な取り扱いブランド
世界各地のHARD CORE,PUNK,SKA

最近の売れ筋ランキング
ノーコメント

NEXT ISSUE

roots-vol.04は1月末日発売予定



テーマ・オブ・vol.4

「2001年を考える」

2000年って喜んでる場合じゃない！！

OUTRO
「2000年問題みんなは大丈夫？この号が出ている頃、街はクリスマスムードー色なんでしょうね。みんな幸せにクリスマス&カウントダウンを迎えて夢の2000年を祝い、生きている喜びを充分に味わいましょう。1999年の7月7日に創刊、こうして3号が発刊できたことを周りのすべての人に感謝します。2000年もルーツ・マガジンはクソガキでいてやる」

"DEAD LINE -JUKE BOXXX!!"
締め切り時に僕達が聴きまくった&回りまくった勇敢な応援歌!!
支えてくれてアリガトさん

★B'ZARO/PAID★Chie ayado/HALLEU JAH,ILOVE HIM SO
★WARREN G/IWANT IT ALL★TOMORROW/Nuovo puNto di partenZa
★OL'DIRTY BASTARD/GOT YOUR MONEY ★THE HIGH LOWS/死人
★Chie ayado/Your Song★THE BLUE HEARTS/1985
★TIMMY REGISTFORD WBLS 8.3.'96★ONO LISA /SENTIMENTAL JOURNEY
★CLASH /FROM HERE TO ETERNITY LIVE
★RED HOT CHILI PEPPERS/CALIFORNICATION★ポンチヂル/'92 DEMO
★LARD/ THE LAST TEMPTATION★SCAR×PROTECT/hardcore bombing
★JAIME'S NU HOUSE 11.23.1998★DEETAH/DEADLY CHA CHA
★横山キックPART5(JAZZ)★Chie ayado/ OLEO
★TONY HUMPHRIES HOT97 2.12.'99★Chie ayado/SENTIMENTAL JOURNEY
★THE BLUE HEARTS/僕はここに立っているよ

roots vol.03 / November 1999. 隔月発売　¥300　禁・無断転載
印刷：長苗印刷株式会社
発行所：ルーツ・マガジン
愛知県名古屋市北区金城町3-3-6-105　TEL / FAX 052-916-8869
mail address / roots-mz@muf.biglobe.ne.jp
roots international / 3-3-6-105 Kinjo-cho,Kita-ku,Nagoya,Aichi,Japan　Zip 462-0047

roots standing shop

roots magazine 販売店リスト | vol.03

全国各店 TOWER RECORDS / HMV / WAVE / VIRGIN MEGASTORE / DISC UNION

名古屋
ACT.NATURALLY
ALASKA RECORDS
A STORE ROBOT
ANSWER
BEHIND VANITY
BONNIE MOON
PRO SHOP BELLS
BETSEY STUDIO
BASK IN THE WOOD
COMEDY&TRAGEDY
CLUB MYTH
CASETTE STAR
DILUSSO
DISC JAM
DOWNSTAIRE
DEPENDS
EAST OF BRIDGE
ENBANYA
FRONT by T.F.L
FREAKY
GROOVE本店
GROOVEワンダーシティ
GO WITH THE FLOW
CLUB JB'S
LOFTY LOUNGE
LUSH the underground
LION MUSIC DEN
LEVER AGE
NOSEDIRT
NOCARE
Nexx premier selected
NAKED SKIES
NEO SOULMASTER'S CAFE
MICOWBER
OMUNIBUS P.G.D
PEDESTRIAN
RADIX
R'S STORE
SOULMATE
S.I.H
SILKROAD
SKILLZ
T.F.L
UNCHAIN
UNITED STYLE
W.C.C. Nagoya Street Low Rider
VALENTINE RECORD MART
VILLAGE VANGUARD本店
VILLAGE VANGUARD生活創庫店

愛知県・市外
VILLAGE VANGUARD ICHIMIYA
BOUT RECORDS
アオキ書店

岐阜
BLEASE
CLUB MYTH
ENJOY
INDEX
K.M.F
MOCAMBO
PARK LIFE
PEPS
ROOKIE
S&S
OMUNIBUS
新星堂（アピオ店）
VILLAGE VANGUARD Bro.店
VILLAGE VANGUARD VOL.1店

豊橋
AT FIRST
BONNEVILLE
NU
NUMBER 3
ON THE HILL RECORDS

岡崎
BIRDOG
VILLAGE VANGUARD岡崎店

豊田
SEVEN SECOND DELAY
VILLAGE VANGUARD　5店

富山
DISCOVERY

福岡
GUAVA

北海道
SLASH CITY RECORDS

東京
HEIGHT
UP STATE
ALL MAN
TIGER HOLE
NAT RECORDS

大阪
VILLAGE VANGUARD難波プランタン店
VILLAGE VANGUARD天王寺ルシアス店

徳島
RASH
名盤堂駅前店